

農大新春ラリーと共に

(第22回～第32回の記録およびエントラント、ラリー責任者からのメッセージ)

第22回農大新春ラリー(コース責任者：大甕和久)

参加台数：80台

22ND NODAI NEWYEAR RALLY 1984.1.15.

注意事項
 ④：旗旗 CM：カ-ジ-ラ- (後、参加台数) (旗の形が不明) (旗の色が不明)
 ⑤：看板
 ⑥：定置物 (1722)は、原則として原則に30分以内、原則として原則に30分以内。
 ⑦：看板等の文字等は、原則として原則に30分以内。
 ⑧：看板は、原則として原則に30分以内。

主催 農大農大 農大農大 自動車部

22ND NODAI NEWYEAR RALLY 1984.1.15.

コース案内図

④ 行先案内板 (ア-子) ⑤ 旗旗
 ⑥ 進行方向 (歩道橋) ⑦ 旗旗
 ⑧ 進入方向 (旗旗) ⑨ 旗旗
 ⑩ 旗旗 (旗旗) ⑪ 旗旗
 ⑫ 旗旗 (旗旗) ⑬ 旗旗
 ⑭ 旗旗 (旗旗) ⑮ 旗旗
 ⑯ 旗旗 (旗旗) ⑰ 旗旗
 ⑱ 旗旗 (旗旗) ⑲ 旗旗
 ⑳ 旗旗 (旗旗) ㉑ 旗旗
 ㉒ 旗旗 (旗旗) ㉓ 旗旗
 ㉔ 旗旗 (旗旗) ㉕ 旗旗
 ㉖ 旗旗 (旗旗) ㉗ 旗旗
 ㉘ 旗旗 (旗旗) ㉙ 旗旗
 ㉚ 旗旗 (旗旗) ㉛ 旗旗
 ㉜ 旗旗 (旗旗) ㉝ 旗旗
 ㉞ 旗旗 (旗旗) ㉟ 旗旗
 ㊱ 旗旗 (旗旗) ㊲ 旗旗
 ㊳ 旗旗 (旗旗) ㊴ 旗旗
 ㊵ 旗旗 (旗旗) ㊶ 旗旗
 ㊷ 旗旗 (旗旗) ㊸ 旗旗
 ㊹ 旗旗 (旗旗) ㊺ 旗旗
 ㊻ 旗旗 (旗旗) ㊼ 旗旗
 ㊽ 旗旗 (旗旗) ㊾ 旗旗
 ㊿ 旗旗 (旗旗) ㊿ 旗旗

主催 農大農大 農大農大 自動車部

【コース案内】

農大——東松山水道局(再スタート)——鳩山——毛呂山——越生——飯能——毛呂山——毛呂山町河原(再々スタート)——越生——農大

【入賞順位】

- ・一般 優勝：勝平
2位：カッポレ団
3位：ガンパレスターレット
- ・学生 優勝：職業訓練大学
2位：東京電機大学
3位：都立大学

第23回農大新春ラリー(コース責任者：清水徳男)

参加台数：80台

23RD NODAI NEWYEAR RALLY 1985.1.15.

注意事項
 ④：旗旗 CM：カ-ジ-ラ- (旗の形が不明) (旗の色が不明)
 ⑤：看板
 ⑥：定置物 (1722)は、原則として原則に30分以内、原則として原則に30分以内。
 ⑦：看板等の文字等は、原則として原則に30分以内。
 ⑧：看板は、原則として原則に30分以内。

主催 農大農大 農大農大 自動車部

第23回 農大新春ラリー 昭和60年1月15日

コース案内図

④ 行先案内板 (ア-子) ⑤ 旗旗
 ⑥ 進行方向 (歩道橋) ⑦ 旗旗
 ⑧ 進入方向 (旗旗) ⑨ 旗旗
 ⑩ 旗旗 (旗旗) ⑪ 旗旗
 ⑫ 旗旗 (旗旗) ⑬ 旗旗
 ⑭ 旗旗 (旗旗) ⑮ 旗旗
 ⑯ 旗旗 (旗旗) ⑰ 旗旗
 ⑱ 旗旗 (旗旗) ⑲ 旗旗
 ㉑ 旗旗 (旗旗) ㉒ 旗旗
 ㉓ 旗旗 (旗旗) ㉔ 旗旗
 ㉕ 旗旗 (旗旗) ㉖ 旗旗
 ㉗ 旗旗 (旗旗) ㉘ 旗旗
 ㉙ 旗旗 (旗旗) ㉚ 旗旗
 ㉛ 旗旗 (旗旗) ㉜ 旗旗
 ㉝ 旗旗 (旗旗) ㉞ 旗旗
 ㉟ 旗旗 (旗旗) ㊱ 旗旗
 ㊲ 旗旗 (旗旗) ㊳ 旗旗
 ㊴ 旗旗 (旗旗) ㊵ 旗旗
 ㊶ 旗旗 (旗旗) ㊷ 旗旗
 ㊸ 旗旗 (旗旗) ㊹ 旗旗
 ㊺ 旗旗 (旗旗) ㊻ 旗旗
 ㊼ 旗旗 (旗旗) ㊽ 旗旗
 ㊾ 旗旗 (旗旗) ㊿ 旗旗

主催 農大農大 農大農大 自動車部

【コース案内】

農大——東松山水道局(再スタート)——鳩山——嵐山——越生——越生町駐車場(再々スタート)——都幾川——越生——鳩山——玉川——鳩山——嵐山——鳩山——東松山——農大

【入賞順位】

- ・一般 優勝：“落下生”三沢、西原、小笠原チーム
2位：MSAA-1
3位：Team Sachi
- ・学生 優勝：東京電機大学
2位：東京電機大学
3位：東京農工大学

第24回農大新春ラリー (コース責任者：石丸 寿)

参加台数：60台

第24回農大新春ラリー
速度指示書

注意事項
 発進地点(PTP)で自給物は下記の配分を必ずご確認下さい。

① 燃料 CM カブタン
 ② 看板 EP 電柱 (既設看板利用可)
 SP カブタン RM カブタン (既設看板利用可)
 GSSP 燃料交換所 UB カブタン (既設看板利用可)
 EP 電柱 (既設看板利用可)
 燃料交換所入り UG カブタン (既設看板利用可)
 燃料交換所入り TB 電柱看板
 BS カブタン (既設看板利用可)
 RXR 踏切り
 ③ 看板等の設置等は全て事前に許可をとり、石丸に承認を必ず仰ぐこと。
 ④ 看板のカブタン設置は必ず認めてください。
 主催 農大農大 農大農大

NODAI NEW YEAR RALLY
15 JAN 24TH 1986

コース案内図

PTP 燃料交換所 GS カブタン
 → 燃料交換所 EP 電柱
 → 燃料交換所 BS 燃料交換所
 → 燃料交換所 PB 燃料交換所
 → 燃料交換所 T 燃料交換所
 → 燃料交換所 UG 燃料交換所
 → 燃料交換所 TB 燃料交換所
 → 燃料交換所 CM カブタン (既設看板利用可)

① 燃料交換所
 ② 燃料交換所
 ③ 燃料交換所
 ④ 燃料交換所
 ⑤ 燃料交換所
 ⑥ 燃料交換所
 ⑦ 燃料交換所
 ⑧ 燃料交換所
 ⑨ 燃料交換所
 ⑩ 燃料交換所
 ⑪ 燃料交換所
 ⑫ 燃料交換所
 ⑬ 燃料交換所
 ⑭ 燃料交換所
 ⑮ 燃料交換所
 ⑯ 燃料交換所
 ⑰ 燃料交換所
 ⑱ 燃料交換所
 ⑲ 燃料交換所
 ⑳ 燃料交換所
 ㉑ 燃料交換所
 ㉒ 燃料交換所
 ㉓ 燃料交換所
 ㉔ 燃料交換所
 ㉕ 燃料交換所
 ㉖ 燃料交換所
 ㉗ 燃料交換所
 ㉘ 燃料交換所
 ㉙ 燃料交換所
 ㉚ 燃料交換所
 ㉛ 燃料交換所
 ㉜ 燃料交換所
 ㉝ 燃料交換所
 ㉞ 燃料交換所
 ㉟ 燃料交換所
 ㊱ 燃料交換所
 ㊲ 燃料交換所
 ㊳ 燃料交換所
 ㊴ 燃料交換所
 ㊵ 燃料交換所
 ㊶ 燃料交換所
 ㊷ 燃料交換所
 ㊸ 燃料交換所
 ㊹ 燃料交換所
 ㊺ 燃料交換所
 ㊻ 燃料交換所
 ㊼ 燃料交換所
 ㊽ 燃料交換所
 ㊾ 燃料交換所
 ㊿ 燃料交換所

【コース案内】

農大——川本町荒川河原(再スタート)——寄居——小川——寄居——長
 瀬——自然公園駐車場(再スタート)——寄居——川本——嵐山——東
 松山——農大

【入賞順位】

- 一般 優勝：MSAA SHOKI
 2位：境ゼミナール
 3位：MSAA 古川
- 学生 優勝：電気通信大学
 2位：東京都立大学
 3位：東京電機大学

第25回農大新春ラリー (コース責任者：二階堂 伸)

参加台数：62台

第25回農大新春ラリー
速度指示書

注意事項
 発進地点(PTP)で自給物は下記の配分を必ずご確認下さい。

① 燃料 CM カブタン
 ② 看板 EP 電柱 (既設看板利用可)
 SP カブタン RM カブタン (既設看板利用可)
 GSSP 燃料交換所 UB カブタン (既設看板利用可)
 EP 電柱 (既設看板利用可)
 燃料交換所入り UG カブタン (既設看板利用可)
 燃料交換所入り TB 電柱看板
 BS カブタン (既設看板利用可)
 RXR 踏切り
 ③ 看板等の設置等は全て事前に許可をとり、石丸に承認を必ず仰ぐこと。
 ④ 看板のカブタン設置は必ず認めてください。
 主催 農大農大 農大農大

NODAI NEW YEAR RALLY
15 JAN 25TH 1986

コース案内図

PTP 燃料交換所 GS カブタン
 → 燃料交換所 EP 電柱
 → 燃料交換所 BS 燃料交換所
 → 燃料交換所 PB 燃料交換所
 → 燃料交換所 T 燃料交換所
 → 燃料交換所 UG 燃料交換所
 → 燃料交換所 TB 燃料交換所
 → 燃料交換所 CM カブタン (既設看板利用可)

① 燃料交換所
 ② 燃料交換所
 ③ 燃料交換所
 ④ 燃料交換所
 ⑤ 燃料交換所
 ⑥ 燃料交換所
 ⑦ 燃料交換所
 ⑧ 燃料交換所
 ⑨ 燃料交換所
 ⑩ 燃料交換所
 ⑪ 燃料交換所
 ⑫ 燃料交換所
 ⑬ 燃料交換所
 ⑭ 燃料交換所
 ⑮ 燃料交換所
 ⑯ 燃料交換所
 ⑰ 燃料交換所
 ⑱ 燃料交換所
 ⑲ 燃料交換所
 ⑳ 燃料交換所
 ㉑ 燃料交換所
 ㉒ 燃料交換所
 ㉓ 燃料交換所
 ㉔ 燃料交換所
 ㉕ 燃料交換所
 ㉖ 燃料交換所
 ㉗ 燃料交換所
 ㉘ 燃料交換所
 ㉙ 燃料交換所
 ㉚ 燃料交換所
 ㉛ 燃料交換所
 ㉜ 燃料交換所
 ㉝ 燃料交換所
 ㉞ 燃料交換所
 ㉟ 燃料交換所
 ㊱ 燃料交換所
 ㊲ 燃料交換所
 ㊳ 燃料交換所
 ㊴ 燃料交換所
 ㊵ 燃料交換所
 ㊶ 燃料交換所
 ㊷ 燃料交換所
 ㊸ 燃料交換所
 ㊹ 燃料交換所
 ㊺ 燃料交換所
 ㊻ 燃料交換所
 ㊼ 燃料交換所
 ㊽ 燃料交換所
 ㊾ 燃料交換所
 ㊿ 燃料交換所

【コース案内】

農大——東松山水道局(再スタート)——鳩山——嵐山——越生——越生
 町駐車場(再スタート)——都幾川——越生——鳩山——玉川——鳩山
 ——嵐山——鳩山——東松山——農大

【入賞順位】

- 一般 優勝：MSAA 中田
 2位：フルタイム2WD神と和解せよ
 3位：すりーさんず
- 学生 優勝：東京電機大学
 2位：電気通信大学
 3位：東京農工大学

第26回農大新春ラリー (コース責任者：山下俊之)

参加台数：60台

NODAI NEW YEAR RALLY
15 JAN 26TH 1986

速度指示書

注意事項
 発進地点(PTP)で自給物は下記の配分を必ずご確認下さい。

① 燃料 CM カブタン
 ② 看板 EP 電柱 (既設看板利用可)
 SP カブタン RM カブタン (既設看板利用可)
 GSSP 燃料交換所 UB カブタン (既設看板利用可)
 EP 電柱 (既設看板利用可)
 燃料交換所入り UG カブタン (既設看板利用可)
 燃料交換所入り TB 電柱看板
 BS カブタン (既設看板利用可)
 RXR 踏切り
 ③ 看板等の設置等は全て事前に許可をとり、石丸に承認を必ず仰ぐこと。
 ④ 看板のカブタン設置は必ず認めてください。
 主催 農大農大 農大農大

NODAI NEW YEAR RALLY
15 JAN 26TH 1986

コース案内図

PTP 燃料交換所 GS カブタン
 → 燃料交換所 EP 電柱
 → 燃料交換所 BS 燃料交換所
 → 燃料交換所 PB 燃料交換所
 → 燃料交換所 T 燃料交換所
 → 燃料交換所 UG 燃料交換所
 → 燃料交換所 TB 燃料交換所
 → 燃料交換所 CM カブタン (既設看板利用可)

① 燃料交換所
 ② 燃料交換所
 ③ 燃料交換所
 ④ 燃料交換所
 ⑤ 燃料交換所
 ⑥ 燃料交換所
 ⑦ 燃料交換所
 ⑧ 燃料交換所
 ⑨ 燃料交換所
 ⑩ 燃料交換所
 ⑪ 燃料交換所
 ⑫ 燃料交換所
 ⑬ 燃料交換所
 ⑭ 燃料交換所
 ⑮ 燃料交換所
 ⑯ 燃料交換所
 ⑰ 燃料交換所
 ⑱ 燃料交換所
 ⑲ 燃料交換所
 ⑳ 燃料交換所
 ㉑ 燃料交換所
 ㉒ 燃料交換所
 ㉓ 燃料交換所
 ㉔ 燃料交換所
 ㉕ 燃料交換所
 ㉖ 燃料交換所
 ㉗ 燃料交換所
 ㉘ 燃料交換所
 ㉙ 燃料交換所
 ㉚ 燃料交換所
 ㉛ 燃料交換所
 ㉜ 燃料交換所
 ㉝ 燃料交換所
 ㉞ 燃料交換所
 ㉟ 燃料交換所
 ㊱ 燃料交換所
 ㊲ 燃料交換所
 ㊳ 燃料交換所
 ㊴ 燃料交換所
 ㊵ 燃料交換所
 ㊶ 燃料交換所
 ㊷ 燃料交換所
 ㊸ 燃料交換所
 ㊹ 燃料交換所
 ㊺ 燃料交換所
 ㊻ 燃料交換所
 ㊼ 燃料交換所
 ㊽ 燃料交換所
 ㊾ 燃料交換所
 ㊿ 燃料交換所

【コース案内】

農大——東松山水道局(再スタート)——鳩山——東松山——滑川——嵐
 山——滑川——江南——川本町——川本町荒川河原(再スタート)——
 江南——嵐山——小川——寄居——花園——農大

【入賞順位】

- 一般 優勝：すりーさんず
 2位：都立大新人チーム
 3位：TEAM COUNT 14
- 学生 優勝：電気通信大学
 2位：東京電機大学
 3位：電気通信大学

第24回農大新春ラリー(コース責任者：石丸 寿)

参加台数：60台

第24回農大新春ラリー 遠征指示書

注意事項
 遠征地区(コース)や目的地は下記の記号で確認してください。
 ① 徳島 CM 川子(川子) (徳島県川子町)
 ② 香取 RM 川子(川子) (徳島県川子町)
 SP 川子(川子) (徳島県川子町)
 GSSP 川子(川子) (徳島県川子町)
 EP 川子(川子) (徳島県川子町)
 タイトル 川子(川子) (徳島県川子町)
 タイトル 川子(川子) (徳島県川子町)
 RXR 川子(川子) (徳島県川子町)
 BS 川子(川子) (徳島県川子町)

主催 徳島県立大学 農学部 自動車部

24TH SINCE 1986 NODAI NEW YEAR RALLY

コース案内図

① 徳島 CM 川子(川子) (徳島県川子町)
 ② 香取 RM 川子(川子) (徳島県川子町)
 SP 川子(川子) (徳島県川子町)
 GSSP 川子(川子) (徳島県川子町)
 EP 川子(川子) (徳島県川子町)
 タイトル 川子(川子) (徳島県川子町)
 タイトル 川子(川子) (徳島県川子町)
 RXR 川子(川子) (徳島県川子町)
 BS 川子(川子) (徳島県川子町)

主催 徳島県立大学 農学部 自動車部

[コース案内]

農大——川本町荒川河原(再スタート)——寄居——小川——寄居——長瀬——自然公園駐車場(再スタート)——寄居——川本——嵐山——東松山——農大

[入賞順位]

- 一般 優勝：MSAA SHOKI
2位：境ゼミナール
3位：MSAA 古川
- 学生 優勝：電気通信大学
2位：東京都立大学
3位：東京電機大学

第25回農大新春ラリー(コース責任者：二階堂 伸)

参加台数：62台

第25回農大新春ラリー 遠征指示書

注意事項
 遠征地区(コース)や目的地は下記の記号で確認してください。
 ① 徳島 CM 川子(川子) (徳島県川子町)
 ② 香取 RM 川子(川子) (徳島県川子町)
 SP 川子(川子) (徳島県川子町)
 GSSP 川子(川子) (徳島県川子町)
 EP 川子(川子) (徳島県川子町)
 RXR 川子(川子) (徳島県川子町)
 BS 川子(川子) (徳島県川子町)
 TB 川子(川子) (徳島県川子町)

主催 徳島県立大学 農学部 自動車部

CHANGE THE WINDS! SINCE 1982 25TH SINCE 1982 NODAI NEW YEAR RALLY

コース案内図

① 徳島 CM 川子(川子) (徳島県川子町)
 ② 香取 RM 川子(川子) (徳島県川子町)
 SP 川子(川子) (徳島県川子町)
 GSSP 川子(川子) (徳島県川子町)
 EP 川子(川子) (徳島県川子町)
 RXR 川子(川子) (徳島県川子町)
 BS 川子(川子) (徳島県川子町)
 TB 川子(川子) (徳島県川子町)

主催 徳島県立大学 農学部 自動車部

[コース案内]

農大——東松山水道局(再スタート)——鳩山——嵐山——越生——越生町駐車場(再スタート)——都幾川——越生——鳩山——玉川——鳩山——嵐山——鳩山——東松山——農大

[入賞順位]

- 一般 優勝：MSAA 中田
2位：フルタイム2WD神と和解せよ
3位：すりーさんず
- 学生 優勝：東京電機大学
2位：電気通信大学
3位：東京農工大学

第26回農大新春ラリー(コース責任者：山下俊之)

参加台数：60台

26TH SINCE 1984 NODAI NEW YEAR RALLY

遠征指示書

注意事項
 遠征地区(コース)や目的地は下記の記号で確認してください。
 ① 徳島 CM 川子(川子) (徳島県川子町)
 ② 香取 RM 川子(川子) (徳島県川子町)
 SP 川子(川子) (徳島県川子町)
 GSSP 川子(川子) (徳島県川子町)
 EP 川子(川子) (徳島県川子町)
 RXR 川子(川子) (徳島県川子町)
 BS 川子(川子) (徳島県川子町)
 TB 川子(川子) (徳島県川子町)

主催 徳島県立大学 農学部 自動車部

26TH SINCE 1984 NODAI NEW YEAR RALLY

コース案内図

① 徳島 CM 川子(川子) (徳島県川子町)
 ② 香取 RM 川子(川子) (徳島県川子町)
 SP 川子(川子) (徳島県川子町)
 GSSP 川子(川子) (徳島県川子町)
 EP 川子(川子) (徳島県川子町)
 RXR 川子(川子) (徳島県川子町)
 BS 川子(川子) (徳島県川子町)
 TB 川子(川子) (徳島県川子町)

主催 徳島県立大学 農学部 自動車部

[コース案内]

農大——東松山水道局(再スタート)——鳩山——東松山——滑川——嵐山——滑川——江南——川本町——川本町荒川河原(再スタート)——江南——嵐山——小川——寄居——花園——農大

[入賞順位]

- 一般 優勝：すりーさんず
2位：都立大新人チーム
3位：TEAM COUNT 14
- 学生 優勝：電気通信大学
2位：東京電機大学
3位：電気通信大学

農大新春ラリーと共に 井口耕作；エントラント “すりーさんず”

(ナビ)現在、指示速度26km、コース図は、逆ト左、右上にCM、PCは、看板「帝松」と、標識40kmを数えています。(計算)1秒遅れ、(ドライバー)了解、あ、チェックだ(計算)オンタイム。“ピー”。

まずは、60周年おめでとうございます。もう何回このピーを聞いた事でしょう。兄弟三人で、チーム“すりーさんず”を組んで約20年になります。始めた頃は計算を競う大学データーラーも多く、大学祭シーズンには、毎週参加していた事もありましたが、オイルショック、ラリー公害等のラリー環境の悪化に伴い、最近では農大新春ラリーだけで、1年に1回のお楽しみとなってしまいました。

今回は、“すりーさんず”も年齢的にリタイヤかと真剣に話していたところ、今年成人式を迎える長兄の娘(そういえばチームを組んだ頃に生まれたんですね。)が急に「振り袖を着て成人式に出るよりもラリーに出たい」と言い始めました。すでにラリーに出る車を処分していたのですが、急遽1BOXカーにカウンターケープル、タイガー計算機を積んで出場と相成りました。いつもラ

リーから帰ると、「何位だった?賞品は?」と飛んできました。あの子供がと考えると感無量でございます。結果は残念ながらNクラス4位と賞品は頂けなく、なんとか優勝して記念にしてやろうと考えていたおじさん達としても非常に残念でした。

ラリー区間の本番は丸一日かけてやる割には数時間しかないのですが、全力を集中する緊張感が良かったのか、「とてもたのしかった、来年は優勝しようね。」と言われてしまいました。こんなに難しくなっていて、昔の電通大以上だねと尻込みしているおじさん“すりーさんず”が元氣娘に引っ張られて来年も懲りずに参加するかも知れません。その節は、“境ゼミナール”の肥後さん、“MSAA”の石井さん、吉川さん、“さち”の皆さん、お手やわらかにお願いしますね。

最後に、末弟が、23年前に、長兄の長男が2年前に、そして今年もまた1人と3人も新春ラリーで成人式を迎えさせていただき、また長年に渡り、美味しいお餅とたのしい1日を用意して下さった農大自動車部及び新春ラリー関係者の方々に厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

私と農大新春ラリー 関野保幸；エントラント “トルコ スペシャル”

農大自動車部創部60周年おめでとうございます。

私と農大新春ラリーとのあいだは、昭和51年1月15日に開催された第14回大会で、農大農芸化学科4年在学中の時であった。当時、大学の1年後輩に自動車部の部員がいた。学科も同じで研究室も隣で、私もラリーに参戦していた事もあり、直ぐに仲良くなったわけである。そして、第14回大会に参加を勧められ、農大新春ラリー初参加となったわけである。この大会で、彼は3年部員で、コース責任者を、勤めていた。

この第14回大会は、農大をスタートし、首都高速・京葉道路を経由し、千葉県中部をステージとし、農大をゴールとするコース設定であった。

この頃は、メーターチェックポイント(以下MCP)までスタンドチェックポイント(以下SCP)があり、また最終のチェックポイント(以下CP)からもSCPが設定されていた。

またMCPまで標準時間で示された、第15回大会もあった。CP間の短い、ショートCPも多かった。SCPが往復あったときは、スタートしてからゴールするまで、全く気が抜けないわけである。パスコンの数は、近年より多かったように記憶している。

ナビゲーション機器は、機械式のトリップメーター、アナログ時計そして手回し計算機が主流であった。ハルダ、ジェコー、タイガー計算機と呼ばれたものである。

ラリーコンピューターが主流の現在、これらを使った事はおろか、知っている人も少なくなった事と思う。私は、それらを、大切に保存している。

印象に残った大会としては、昭和54年1月14日に開催された第17回大会であった。開催日直前に東京西部と神奈川西北部は降雪に見舞われ、多い所では、15~20cmの積雪が、あったように記憶

している。

この第17回大会は、農大をスタートし、中央高速の八王子インターチェンジを経由し、更に南下し神奈川県内をステージとし、農大をゴールとするコース設定であった。そして城山湖付近で、チェーン装着指示が出た。しかし大会主催者の努力で前夜までに除雪が進み、大きなトラブルはなかった。

この時は、主催者に感謝すると共に、ラリー主催の難しさを痛感した。

そのような事を経験しながら、農大新春ラリーも毎年欠かさず参加させていただき19回を数えた。

私以外にも長いあいだ、このラリーに参加されている方も多い。MSAA-OBチーム・すりーさんずチーム・境ゼミナールチームなど数多い。

長い間のうちに知り合った常連のエントラント、また自動車部のOBの方々に、年に一度会える事を楽しみにしている事と、自分自身が、農大出身という事が長く続いている理由のように思う。

これからも続く限り連続出場し、エントラント及び自動車部のOBの方々との親睦を深めたいと考えている。

農大新春ラリーとは、初めてラリーに参加するチームや、農大新春ラリー規約・車両規定に対し知識の少ないチームから、ベテランまで幅広い層の参加がある。

それらのエントラントをまとめ、オーガナイズする主催者の努力には頭がさがる思いである。

今後も農大新春ラリーが長く続く事を祈りすると共に、若輩な私が60周年記念誌の原稿を書かせていただける事を光栄に思い、関係者の皆様に感謝する次第です。

第27回農大新春ラリー(コース責任者：柴田知城)

参加台数：50台

平成元年 1989 SINCE 1962

速度指示書

注意事項
 本大会は1989年2月23日(日)の午後6時30分開始です。
 ① 標 旗 C M : コーポレート (経路の案内用)
 ② 車 旗
 S P : サインポール R M : ロードマーカ
 G S P : ガソリンスタンドの看板 (経路の案内用)
 E P : 電 柱 U B : ユニバーサル (経路の案内用)
 R : 路 標 U : ユニバーサル (経路の案内用)
 P B : 公共機関 U : ユニバーサル (経路の案内用)
 T B : 交通標 U : ユニバーサル (経路の案内用)

主催 東京農業大学農友自動車部

平成元年 1989 SINCE 1962

コース案内図

① 標 旗 C M : コーポレート
 ② 車 旗
 S P : サインポール R M : ロードマーカ
 G S P : ガソリンスタンド
 E P : 電 柱
 U B : ユニバーサル
 R : 路 標 U : ユニバーサル
 P B : 公共機関 U : ユニバーサル
 T B : 交通標 U : ユニバーサル

主催 東京農業大学農友自動車部

[コース案内]

農大——川本町荒川河原(再スタート)——嵐山——江南——滑川——東松山(再スタート)——嵐山——鳩山——東松山水道局——鳩山——嵐山——鳩山——越生——鳩山——東松山——農大

[入賞順位]

- ・一般 優勝：MSAA OB
 2位：Team Sachi
 3位：CAUNT 14
- ・学生 優勝：電気通信大学
 2位：東京農工大学
 3位：東京農工大学

第28回農大新春ラリー(コース責任者：中津川英彦)

参加台数：54台

REIHI TOKYO SETAGAYA SINCE 1962 28th 14 JAN 1990

速度指示書

注意事項
 本大会は1990年1月14日(日)の午後6時30分開始です。
 ① 標 旗 C M : コーポレート (経路の案内用)
 ② 車 旗
 S P : サインポール R M : ロードマーカ
 G S P : ガソリンスタンドの看板 (経路の案内用)
 E P : 電 柱 U B : ユニバーサル (経路の案内用)
 R : 路 標 U : ユニバーサル (経路の案内用)
 P B : 公共機関 U : ユニバーサル (経路の案内用)
 T B : 交通標 U : ユニバーサル (経路の案内用)

主催 東京農業大学農友自動車部

REIHI TOKYO SETAGAYA SINCE 1962 28th 14 JAN 1990

コース案内図

① 標 旗 C M : コーポレート
 ② 車 旗
 S P : サインポール R M : ロードマーカ
 G S P : ガソリンスタンド
 E P : 電 柱
 U B : ユニバーサル
 R : 路 標 U : ユニバーサル
 P B : 公共機関 U : ユニバーサル
 T B : 交通標 U : ユニバーサル

主催 東京農業大学農友自動車部

[コース案内]

農大——花園——川本町荒川河原(再スタート)——寄居——滑川——嵐山——東松山——吉見——東松山——農大三高(再スタート)——吉見——嵐山——東松山——農大

[入賞順位]

- ・一般 優勝：たまにはいい成績とりたい
 2位：Team Sachi
 3位：イエローガレージ
- ・学生 優勝：電気通信大学
 2位：東京農工大学
 3位：東京農工大学

第29回農大新春ラリー(コース責任者：大場秀之)

参加台数：56台

SINCE 1962 29th 15 JAN 1991

速度指示書

注意事項
 本大会は1991年1月15日(日)の午後6時30分開始です。
 ① 標 旗 C M : コーポレート (経路の案内用)
 ② 車 旗
 S P : サインポール R M : ロードマーカ
 G S P : ガソリンスタンドの看板 (経路の案内用)
 E P : 電 柱 U B : ユニバーサル (経路の案内用)
 R : 路 標 U : ユニバーサル (経路の案内用)
 P B : 公共機関 U : ユニバーサル (経路の案内用)
 T B : 交通標 U : ユニバーサル (経路の案内用)

主催 東京農業大学農友自動車部

SINCE 1962 29th 15 JAN 1991

コース案内図

① 標 旗 C M : コーポレート
 ② 車 旗
 S P : サインポール R M : ロードマーカ
 G S P : ガソリンスタンド
 E P : 電 柱
 U B : ユニバーサル
 R : 路 標 U : ユニバーサル
 P B : 公共機関 U : ユニバーサル
 T B : 交通標 U : ユニバーサル

主催 東京農業大学農友自動車部

[コース案内]

農大——農大三高(再スタート)——吉見——大里——東松山——滑川——江南——嵐山——川本——川本町荒川河原(再スタート)——嵐山——小川——嵐山——鳩山——越生——毛呂山——鶴が島

[入賞順位]

- ・一般 優勝：MSAA-OB
 2位：Bombykol
 3位：ヨコハマしゅうまい倶楽部
- ・学生 優勝：東京都立大学
 2位：東京農工大学
 3位：東海大学

50台

農大新春ラリーの思い出 木村 温；エントラント “無”

農大自動車部創部60周年、おめでとうございます。農大ラリーも、今年の大会で、32回と言うことで、大変長い歴史のあるラリーに参加できて、感激しています。

私が、農大ラリーに、初めて参加したのは確か、1970年、私が20歳のときだったと思います。ラリーを始めて、まだ日も浅く、毎日車を乗り回していた頃だと思います。その頃の農大ラリーは、PCの数も大変多く、特にオドメーター前のPCがあり、PC探しと、計算に四苦八苦した事を、今でも思い出します。

又、一般教養問題も出題され、百科事典を車に積んで出た事もありました。

農大ラリーは、賞品が大変豪華で、特に優勝賞品には、米が一俵ついていました。我々は農大ラリーに参加するときにはいつも、この米の売り先を探してから参加していましたが、残念ながら、優勝の経験はなく、確か2位が最上位で、米一俵を手にしたことはまだありません。

最近では、他のラリーに参加する機会もほとんどなく、年1回

の農大ラリーに参加するのみとなっております。年一回のラリー参加なので、速度計算等、なかなか思い出せず、トリップ、時計、計算機の関係にやっと慣れた頃には、ラリーも終りになっているという状態が続いています。

しかし、年一回のラリー参加の楽しみは、ラリー自体の楽しみもさる事ながら、赤坂の料理屋から持ちこんだ、豪華な昼食（ビール付）と、ラリー終了後の旧友達との飲み会にあります。この飲み会では、昔話や、ラリーの苦労話など、夜が更けるのも忘れて飲んでしまい、ついつい二日酔いになってしまいます。

わがチームの参加者も、時代とともにメンバーも変わり、最近では、甥と一緒に参加をしました。近い将来は息子の運転で、そして、いずれは、孫の運転で、農大ラリーに参加して、米一俵を持ち帰りたいと思います。

どうぞ、今後の農大自動車部と農大ラリーの益々の発展を、そして、40年後の100周年には、盛大な催しになる事を願っております。

— 東
— 嵐

: 54台

柴田 知城；第27回農大新春ラリーコース責任者

夏休みが終わり、日没時刻が早くなるに連れて、新春ラリーまでの日数が、気になり出してくる。早くコースを完成させよう、賞品の交渉は、うまく行っているのか、そろそろ備品も必要な物を造りはじめなければ、などと考える事が増える一方である。

私が2年生のあるコース取りの日、早朝の集合時間になってもラリー責任者のY先輩が部室に現れない。電話をするが応答がなく、あまりに遅いのでアパートへ迎えに行く事になった。車、バイクはあるが、部屋のドアは鍵がかかりカーテンも閉じられている。ドアを叩き、大声で呼んでも返事がなく、結局その日のコース取りは中止となり、皆は口々に不満をもらしながら解散となった事があった。翌日、Y先輩によると風邪を引いて指示書を作成しながら夜中にそのまま寝てしまったそうだ。その時の部屋の様子が頭に浮かぶ……。コース図、ノート、指示書の原案、ポ

ールペン等でちらかったコタツの上には、タイガー計算機……。そこには死んだように眠っている、メガネのずれたままのY先輩が溶け込んでいる。まさに悲しい情景だったろう。私は責任者にだけはなりたくないと思った事を忘れられない。しかし、当然の順番のようにコース係だった私はこの役を任命され、“押忍”と返事する事になってしまった。

自分の時の新春ラリーの事は、あまり良く思い出せない。コース取りのとき、最終CPの向こう側にあった自動販売機の“あまざけ”ぐらいだ。一生懸命やったつもりだが無難に終了させたいと考えていたからかもしれない。

いま思う事は、30回を超える新春ラリーには、それぞれつくってきた部員たちにしか思い出せない物があり、これらが積み重なり、農大自動車部の長い歴史、伝統を形造っているのだろう。

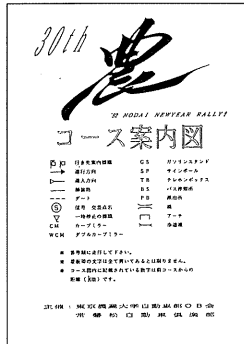
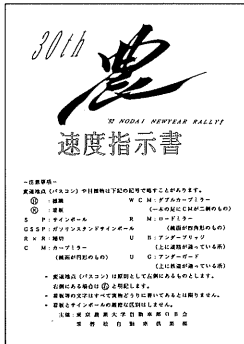
— 嵐
— 吉見

: 56台

— 滑川
— 嵐山

第30回農大新春ラリー(学生ラリー責任者：吉田康治)

参加台数：68台



[コース案内]

農大——農大三高(再スタート)——吉見——大里——東松山——滑川——東松山——農大三高(再々スタート)——吉見——東松山——鳩山——越生——毛呂山

[入賞順位]

- ・一般 優勝：落下生FX-4WD
2位：今年は飲むぞ旨い酒
3位：境ゼミナール
- ・学生 優勝：東京農工大学
2位：電気通信大学
3位：東京農工大学

第31回農大新春ラリー(学生ラリー責任者：神藤充宏)

参加台数：64台



[コース案内]

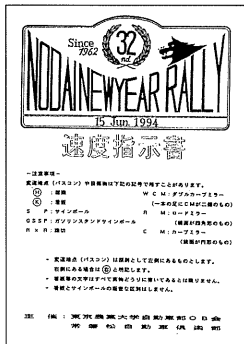
農大——農大三高(再スタート)——吉見——大里——東松山——滑川——江南——嵐山——川本——川本町荒川河原(再々スタート)——嵐山——小川——嵐山——鳩山——東松山水道局

[入賞順位]

- ・一般 優勝：TEAM CAUNT23
2位：MSAA・SHOKI
3位：ヨコハマしゅうまい倶楽部
- ・学生 優勝：東京電機大学
2位：東京農工大学
3位：電気通信大学

第32回農大新春ラリー(学生ラリー責任者：瀬川貴志)

参加台数：59台



[コース案内]

農大——東松山——農大三高(再スタート)——吉見——滑川——嵐山——東松山——農大三高(再々スタート)——鳩山——鳩山農協駐車場

[入賞順位]

- 一般 優勝：Bombykol
2位：MSAA-SHOKI
3位：ヨコハマしゅうまい倶楽部
- 学生 優勝：電気通信大学
2位：東京農工大学
3位：都立大学

新春ラリーと大場の青春 大場秀之：第29回農大新春ラリーコース責任者

そろそろ部活動になれてきた1年生の秋のある日「大場、明日空いてるか？埼玉いくぞ、7時部室な、バインダーとノートと鉛筆もってこいよ」だいたいこんな一言から、残された自動車部生活が決まってしまう。こんなもんである。

いざ自分が、ラリー責任者になってみると道がない。どの道も出尽している。だから去年のこのコースを逆走して、一昨年のに結び付けて……。新しいコースは、新しく出来た道、こんなもんである。

苦勞して新しいコースを見つけて、いざOB試走、コーチ曰く「こ

こは6年前♡♡が使ったなあ。」こんなもんである。

しかし卒業して2年経った今でも、秋の天気の良い日があると、こんな日はコース取り日よりだなあ、滑川のあの柿は、もう熟れたかなあ、と考える。4年間続けた事は、なかなか抜けな

いものである。
OBとなった今、ついにあの新春ラリーを続けてやってほしい……という域に入ってしまった。現役の皆さんも思い出づくりのために新春ラリーの準備を頑張ってください。

吉田康治：平成3年度 ラリー責任者

一体、何回埼玉に泊まったんだろう……。力つき眠りに就くのは、大抵農大三高の正門前だった。同僚の杉原君が必ずドライバー、私は、ノート左手、地図右手で、トリップを取る。先に眠くなるのは、十中八九私だった。「菊、御免、先に寝る。」合い言葉になっていた。翌朝、三高の警備員のおじさんに起こされると、あら不思議、繋がらなかったコースが繋がっている。彼の東松山近辺の素晴らしい地理勘と、根性が、第30回の新春ラリーのコースを造ったのである。思い直せば、どっちが責任者だか判らない。

年末が近付くと道路工事が多くある。1週間もコースを見にいけないと不安でいたたまれなくなる。正月なので珍しく自宅にいたが、コース上にある工事看板が気になり出して、親にドライブ

に行くと言って、コースを走りに行ってしまう。(小心中め) ある時は、No CP、No RALLYと言う言葉が、頭からはなれなくなり、取り敢えず、サンパでも踊ってみたいくなる。(何でだろう?) やっぱり私は、ラリー責任者だったのだ。

東松山警察署のおまわりさんとも、妙に仲良くなってしまった。警察に行くとき農大新春ラリーの信用度は、高い。毎年欠かさず、大きな事故もなく続けているという事が、御役所にとって大事なのだ。と、悪びれた言い方をしたが、やはり伝統を感じた。続けていくということは、それだけ凄いのだ。

OBになってもラリーが忘れられない。皆で一丸となって造った新春ラリーを消したくない……。そんな思いで今います。

神藤充宏：平成4年度 ラリー責任者

第31回農大新春ラリーは、ラリーを開催するのがどれだけ難しいかを、思い知らされたラリーでありました。

ここ数年のラリーをとりまく環境は、厳しくなっていくばかりでなかなか警察の道路使用の許可がおりなくなっています。これは、多発する交通事故や、暴走行為等をする人々が一向に減らない等の原因が考えられます。ラリーという競技は、一般的な人々から見れば、パリ・ダカールラリーやWRCなどのスピードラリーを連想するでしょう。このために農大ラリーのような計算ラリーであっても、なかなか許可がおりないのだと思います。 実際、第31回農大新春ラリーのときには、警察から前に述べたような事をいわれました。また、今まで昼間に行ってきたラリーを、交通量の多い昼間に行うのは、駄目だともいわれました。しかし、そういうところは、通らないようなコースを作り、また通ったとし

ても交通の迷惑にならないようにアベ設定をしています。今までは、何も問題なかった事を指摘され、どうしていいのか悩みました。5年前位から30回のラリーの道路使用許可やコース図、速度指示書等を警察に見せ、今まで無事故である事を強調し、何とか条件付きで許可をもらい開催できる事になり、ホットしました。

年が明けて、1月15日。天気 雨。1月15日は、晴れの特異日だというのに雨！雨対策など何も考えてなかったために、現役部員やOBの先輩がたに大変迷惑をかけてしまったことを、この場を借りて謝りたいと思います。しかし、ラリー自体に大きな問題もなく無事に終わったので良かったと思います。

最後に、第31回農大新春ラリーを作るのに御協力していただき、また、公私にわたる自分の悩みを聞き、励まして頂いた先輩や同輩、後輩たちに感謝いたします。

遠 征

昭和58年度～平成5年度



昭
昭
昭
昭

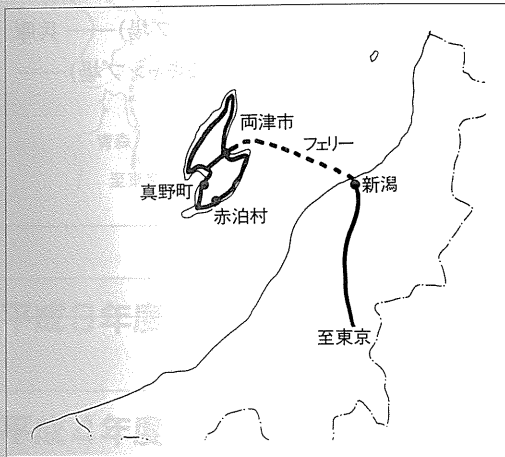
昭

昭和58年度——キャンペーン参加により遠征中止

昭和59年度——キャンペーン参加により遠征中止

昭和60年度——キャンペーン参加により遠征中止

昭和61年度——佐渡島一周遠征 (10月9日～12日)



使用車輛 3台

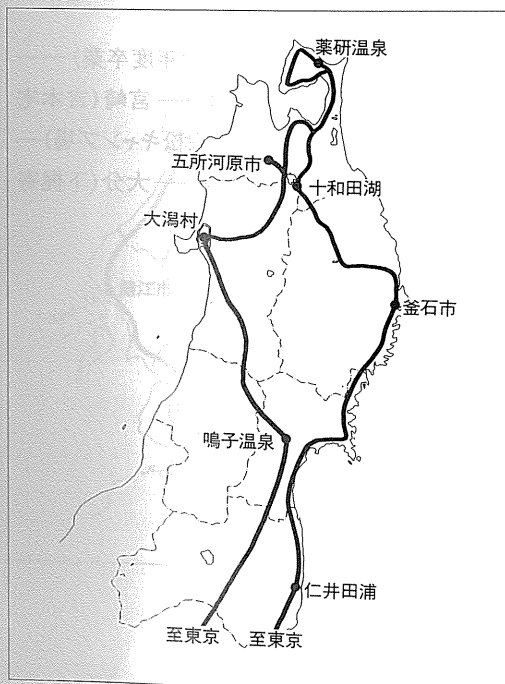
- ・日野 レインボー
- ・日産 プレーリー
- ・日産 ブルーバード810バン

【行程】

東京——新潟——(佐渡汽船フェリー)——真野町(瓜ノ沢キャンプ場)——赤泊村(新潟県立佐渡スポーツハウス)——東京

全走行距離 945Km

昭和62年度——東北一周遠征 (7月26日～8月4日)



使用車輛 5台

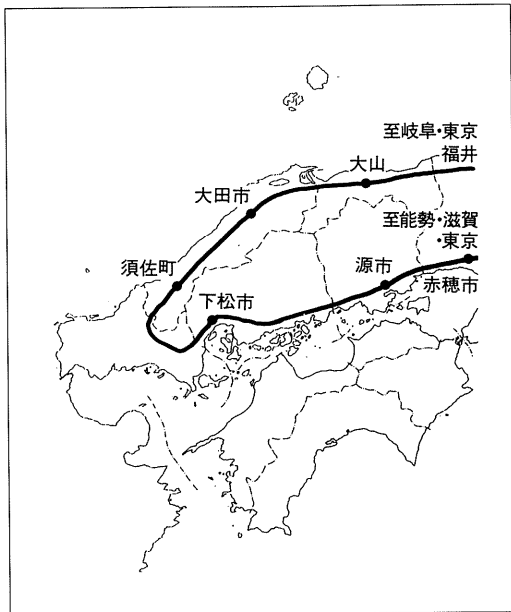
- ・日野 レンジャー
- ・日産 パトロール
- ・日産 プレーリー
- ・日産 クリッパー
- ・日産 ブルーバード810バン

【行程】

東京——栃木(那須農場)——福島(五色沼)——宮城(志津川町)——岩手(宮古市)——秋田(田沢湖)——青森(十和田湖)——(大和)——(五所河原市)——岩手(花山村)——東京

全走行距離 2490.1Km

昭和63年度——中国一周遠征 (7月31日～8月11日)



使用車輛 4台

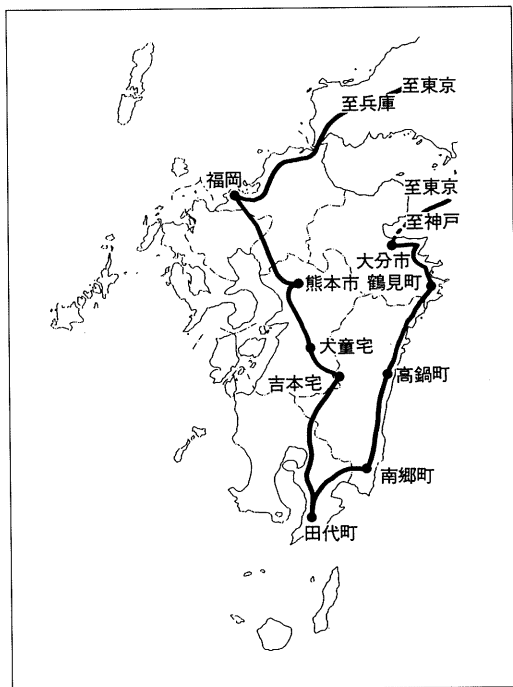
- ・日野 レンジャー
- ・日産 プレーリー
- ・いすゞ エルフ
- ・マツダ ファミリア

【行程】

東京——岐阜(八曾キャンプ場)——福井(美浜キャンプ場)——京都(浜坂キャンプ場)——鳥取(大山キャンプ場)——島根(三瓶山キャンプ場)——山口(長磯キャンプ場)——(下山キャンプ場)——広島(三原キャンプ場)——兵庫(赤穂キャンプ場)——(能勢キャンプ場)——滋賀(近江八幡キャンプ場)——東京

全走行距離 2475Km

平成元年度——九州一周遠征 (7月28日～8月8日)



使用車輛 3台

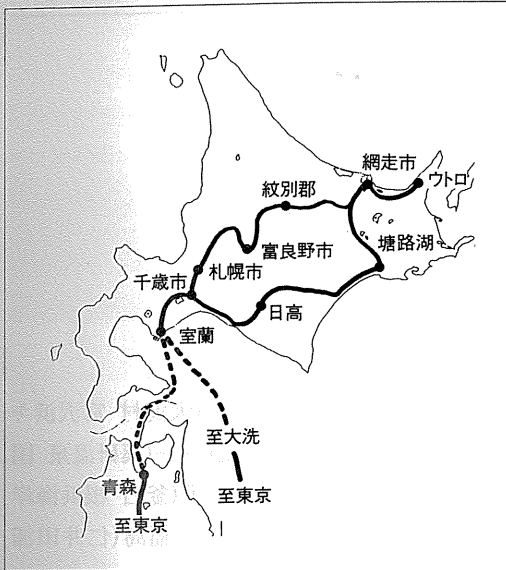
- ・トヨタ コースター
- ・いすゞ エルフ
- ・日産 プレーリー

【行程】

東京——兵庫(鹿ヶ壺キャンプ場)——福岡(柴田宅 平成元年度卒業)——熊本(こしき岩キャンプ場)——(犬童宅 昭和48年度卒業)——宮崎(吉本宅 昭和44年度卒業)——鹿児島(花瀬公園キャンプ場)——(栄松キャンプ場)——宮崎(高鍋海水浴場キャンプ場)——(丹助岳キャンプ場)——大分(下梶寄海水浴場キャンプ場)——(フェリー)——神戸——東京

全走行距離 3261.7Km

平成2年度——北海道遠征(7月29日～8月9日)



使用車輛 3台

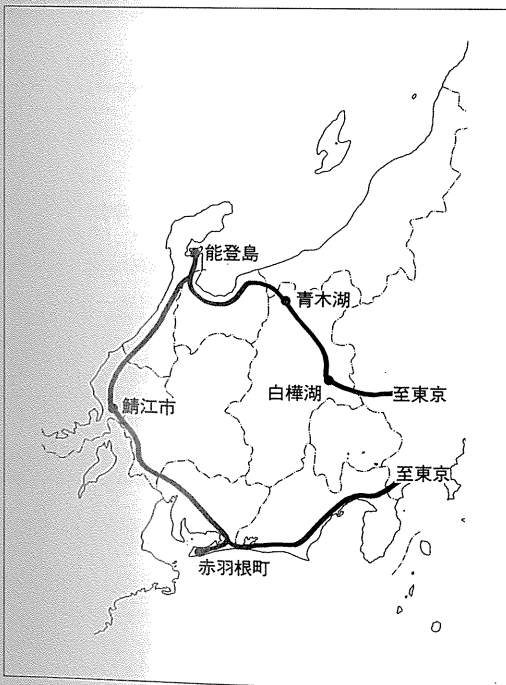
- ・トヨタ コースター
- ・いすゞ エルフ
- ・日産 プレーリー

【行程】

東京——宮城(森林スポーツ公園)——(東日本フェリー)——北海道札幌市(黒田宅 昭和40年度卒業)——富良野市(山部自然公園太陽の里)——紋別市(浮樹浮木ランドキャンプ場)——網走市(呼人旅館)——川上郡(塘路湖キャンプ場)——沙流郡(日高山岳ピラパーク沙流川キャンプ場)——千歳市(モーラップキャンプ場)——(フェリー)——大洗——東京
全走行距離 2470.3Km

平成3年度——全日ダートラ出場、カレッジカップ出場、キャンペーン参加により遠征中止

平成4年度——信州・北陸遠征(8月8日～14日)



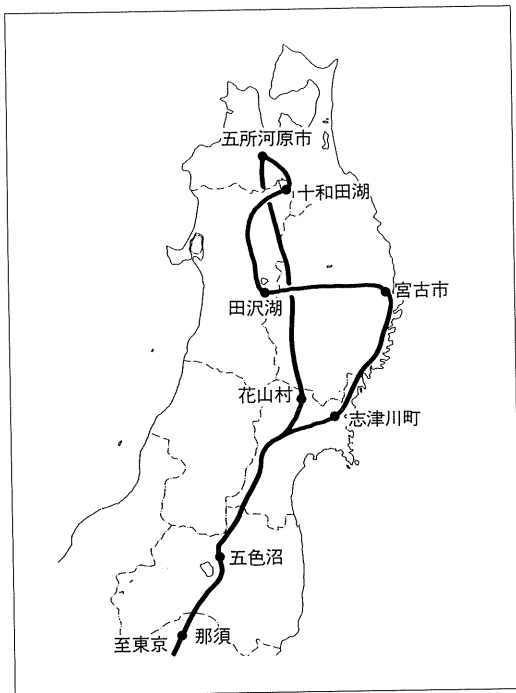
使用車輛 4台

- ・トヨタ コースター
- ・いすゞ エルフ
- ・日産 プレーリー
- ・日産 コンドル

【行程】

東京——長野(白樺湖 清幸荘キャンプ場)——(青木湖 青木荘キャンプ場)——石川(能登島 勝尾崎キャンプ場)——福井 鯖江市(杉原宅 平成4年度卒業)——愛知 赤羽根町(大場宅 平成3年度卒業)——東京
全走行距離 1430.9Km

平成5年度——東北一周遠征(8月6日~15日)



使用車輛 4台

- ・トヨタ コースター
- ・日産 コンドル
- ・日産 プレーリー
- ・日産 サニー

[行程]

東京——宮城(鳴子温泉 鳴子吹上キャンプ場)——秋田(大潟村 宮沢浜キャンプ場)——青森(五所河原市 葛西宅 平成2年度卒業)——(薬研温泉 国設薬研野営場)——(十和田湖 宇樽部キャンプ場)——岩手(釜石 根浜海岸キャンプ場)——宮城(森郷 キリスト教森郷キャンプ場)——福島(仁井田浦 仁井田浦キャンプ場)——東京

全走行距離 2262.6Km

スポーツは、その行われているお国柄や、時代を良く反映しているものです。特にモータースポーツはその時代の経済状況、そして社会環境によって行われる規模や競技の内容を幾度となく変更してきました。クルマをスポーツの道具として60年の歳月を過ごしてきた我々、農大自動車部も例外ではなく、例えば、今の交通事情では想像もつかない東京～大阪間耐久レースや全日本学生ラリー、スクーター耐久競技、そして昭和61年で中止となった整備技術選手権大会など、自動車部としての活動を変化させてきました。

そこで、ここでは創立50年以後の農大自動車部として行っている競技を説明して行きたいと思います。

現在参加している競技は全日本学生自動車連盟の主催する、

- ・自動車運転競技(フィギア)
- ・ラリー
- ・ジムカーナ(スラローム第1種)
- ・ダートトライアル(スラローム第2種)

以上の4種目が中心であり、その中で全関東と全日本の大会が行われているのが、自動車運転競技、ジムカーナそしてダートトライアルの3種目になります。

各競技、全日本学生自動車連盟の競技規則のもとに行われますが、ラリー、ジムカーナ、ダートトライアルに関しては、日本自動車連盟(JAF)の定める競技規則の安全基準や競技車両規則に準じています。

自動車運転競技(フィギア)

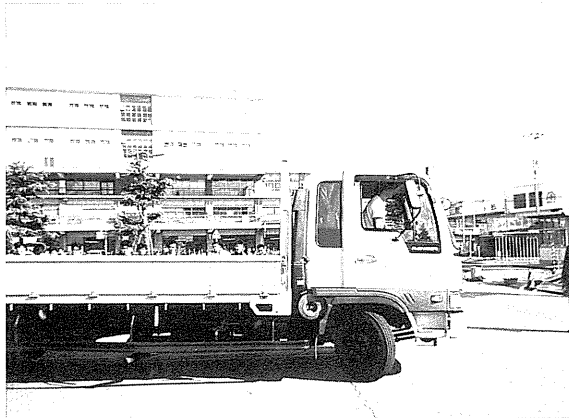
昭和29年には、第一回目の全日本大会が行われていた由緒正しき競技。歴史ある自動車部員であれば知らないはずがない。自動車部の歴史はフィギアの歴史ともいえましよう。その長い歴史ゆえ、各大学ごとにフィギアの専門用語まで有るのが特徴で、知らない人にとっては怪しき満点の競技の内容はおろか、言葉を理解するのに時間も必要でしょう。また、競技の特種性から、新入生に部の活動内容を説明するにも最後まで隠している場合も有ります。一般的に教習所を物凄く難しくしたものであると説明するようです。

しかし、競技の内容は当初の頃と比較すると大きく変わったと思われます。基本的な競技内容はそのままに、レギュレーションの変更や、使用コースの男女共通化、使用車輛のクローズド、競技時間の短縮等、年を追うごとに変わりつつあり、その背景には各自動車部のフィギア離れの傾向があると言えましよう。それでも『フィギアを制するものは全てを制する』の教えに従い、キビシイ合宿にも耐え、日々のハンドルまわしにも余念がないのは言うまでもありません!

▶ 半そで、ジャージ、そして座ぶとん。由緒正しきフィギアのスタイル



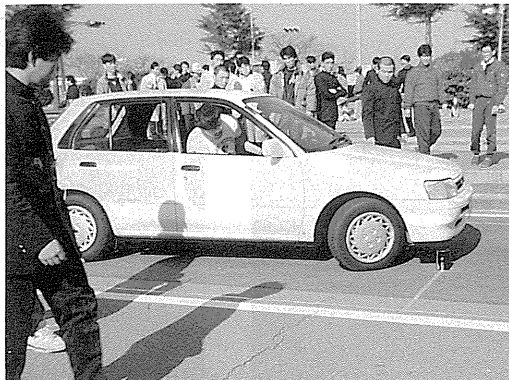
◀ 大型貨物の部
主に4tトラックで行われる。フィギアの花形です。女子の部はなく男子の部のみが行われます



▶ 普通乗用の部
通称セダン。その時代の高級サルーンが使用されることが多い



◀ 小型貨物の部
2tトラッククラス。女子の場合はこのクラスが最大になります。試合車輛がオートマチック搭載車であった時もありました



◀小型乗用の部
1.3ℓ～1.5ℓの車を使用することが多く、2ドアクーペから5ドアハッチバックまで多種の車を使用します

▼試合とは関係なくフィギアの合宿風景。やはり腕立て伏せが自動車部の基本です。「フィギアを制する者は全てを制する」

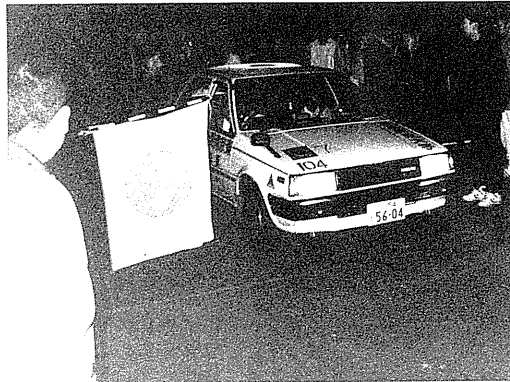


ラリー

ラリーといってもスピードを競うのではなく、時間の正確さを競うもので、一般的に考えられている派手なクルマでとばすというものではありません。走った距離を与えられた指示速度に従って、任意に設定されているチェックポイントを通過するまでの時間を求めるのですが、なかなか『ジャストオンタイム』とはいかないところに、ラリーの面白さがあるようです。

試合は一般道を深夜走ることが多く、競技中の指示速度も法定速度の80%以下に設定されており、時間の計算を主体にしているため車にドライバー、ナビゲーター、カリキュレーター2人の計4人で乗り込むことが多いようです。時間の計算は、かなり複雑で難しくつい最近までタイガー計算機を使用していましたが、現在はラリーコンピューターやポケットコンピューターが導入され、計算の処理が速く確実になりました。

ラリーは知力、体力、そして運転技術力を総合する競技であり、使用する車の性能とは関係なく、チームワークと実力が勝負であり、農大自動車部の得意とする競技です。しかし、最近ではラリーを開催する際に警察等の許可を得るのが非常に困難になり、ラリー開催の存続が危ぶまれているのが実情です。



▲ラリーのスタート風景。選手を送り出す時は「青山ほとり」で応援。NHKテレビに映ったことあり



▲法定速度以下で走る。それでもラリー競技中はヘルメット着用



◀4名乗車の車内。ドライバー、ナビゲーター、後席にはカリキュレーターが2人。もちろん計算は「タイガー計算機」

▶チェックポイント通過直後。暗やみの中、突然チェックポイントが出てきたりします。目印は三角停止板とオフィシャルの学生



◀夜を徹して走る選手を励ますため、サービス部隊は駐車場でおでん作り。ここ数年はおでんがあって当りまえ？ちなみに写真は再スタート前

スピード競技について

現在行われている競技は4種目と前述しましたが、大きく区別をすると『フィギア』『ラリー』そして、『ジムカーナ、ダートトライアル』を一纏めで『スピード競技』と3種類に分かれます。

スピード競技はここ数十年の間に発展してきたカテゴリーであり、正確には舗装路面を走るジムカーナを『スラローム第1種』、非舗装路面を走るダートトライアルを『スラローム第2種』と言い、細かな部分では違いがありますが、基本的な競技規則を共通にしています。使用車両については排気量や改造範囲によって細かくクラス分けがしてあり、簡単にまとめると以下ようになります。

A車輛	ナンバー付き・エンジン無改造。過吸器付の場合排気量を1.4倍する
C車輛	ナンバー無し・ある程度の改造は出来る。過吸器付は排気量の1.7倍

*Cクラスの場合

クラス	1	2	3
排気量(cc)	~1300	1301~2000	2001~

A車輛の場合はナンバー付き、つまり違法改造が出来ないクラスであり、普段私たちが使用しているような車のクラスであり、C車輛はナンバーを付けない、一般公道の走行は出来ないがレギュレーションで定められた範囲内の改造を許された競技専用の車輛を指します。勿論安全基準も改造の範囲の広がるC車輛の方が厳しくなっており、また、同一排気量であってもターボやスーパーチャージャー等の過吸器を付けているものは本来の排気量に過吸気係数を掛けなければなりません。このような競技規則や車輛規則、安全基準は日本自動車連盟(JAF)に準じています。なお現在、全日本学生自動車連盟で開催している試合の場合はC-1またはC-2クラスに限られており、これは使用車輛の性能の差を極力少なくしつつ、整備力と運転技術の向上をねらいとしています。



▲ジムカーナ使用車
車高は低く、タイヤはハイグリップのものを使用します。硬めのバネでガチガチ

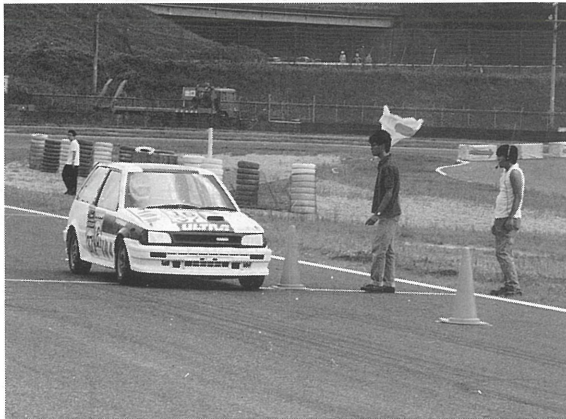


▲ダートトライアル使用車
足まわりはラリータイヤに大容量のショックアブソーバー。場所によってはアンダーガードを装着します

スラローム第1種(ジムカーナ)

最近、手軽なモータースポーツとして人気の高いスピード競技で、舗装路面で行うタイムトライアルを『ジムカーナ』、非舗装路面の場合を『ダートトライアル』という区分で分けています。

ジムカーナは、舗装された駐車場のようないくつかの広い場所にパイロンを置いてコースを作る場合が多く、開催地によってはサーキットコースの一部を使用したり、自動車教習所のコースを走ったりするのですが、同じ舗装路面を走るサーキットと違うところは、コースは予め決まっているのではなく、走る人のレベルなどに合わせられるように自由にコースを設定出来るところにあります。一見、広い駐車場でいい加減に走っているように見えますが、実は物凄い集中力と体力を要求される競技で、何よりもまず、コースを短時間で覚えられただけの明晰な頭脳が必要なのです。



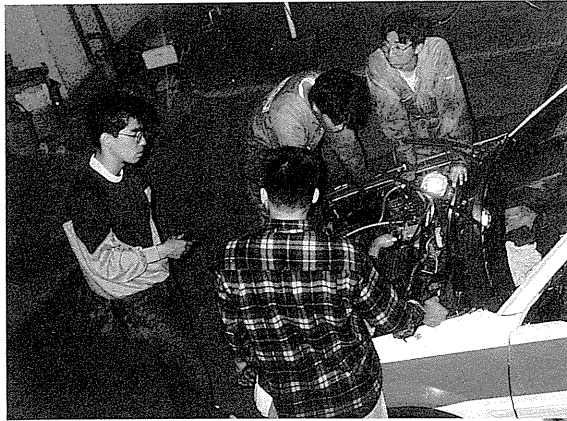
◀スタート前。一番緊張する瞬間。コースは鈴鹿サーキット南コース

▶ 関東で唯一のMR2のジムカーナ車。スーパーチャージャー付きで乗りこなすのが大変だったようです



◀ここ数年間主流を占めているスターレットターボのジムカーナ車。高速コーナーから360°ターンまで何でもこなします





◀連日連夜の作業
ジムカーナ、ダートトライアル共に同じ車を使用することがあったため、超過密スケジュールで整備します

▶他よりも速い車を造りたい。はずしてあるボンネットは農大特製自作FRP製。車の完成度も年ごとに高くなってきました



◀競技車輛のコクピット
見易く作ったメーター類。車内を守るロールバーは6P式で万が一の転倒でも安心です

スラローム第2種(ダートトライアル)

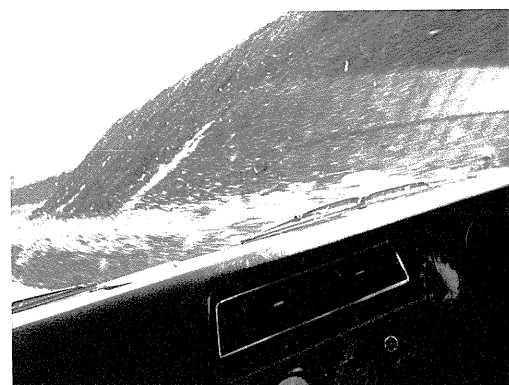
ジムカーナ同様に人気のある競技で競技形態は基本的に同じながらも、こちらは非舗装路面、つまりダートを走るタイムトライアルです。

豪快にドリフトしながら、砂煙をあげ猛スピードで駆け抜けていく様は見るとしても、走っている当人にとっても楽しいものです。しかし、クルマで撥ねる石の音、迫り来る岩の壁は、走ることへの恐怖を掻き立てます。路面が滑りやすくコントロールが難しいことが更にそれを増幅します。実際に、転倒した際のクルマ、人間へのダメージはダートラの方が大きく、転倒そく廃車、そして怪我、というようなパターンが待ち構えているだけに、出走前のドライバーは緊張と恐怖心に打ち勝つため、気合いと同時に、頭のネジをあらかじめ2、3本程ぬいてスタートラインに向かうのです。派手さと豪快さではこの競技が一番です。

タイ
で分
る場
コー
は予
を設
が、
られ

-キッ

ジム
よく



▲(左上より3点とも)横すべりする車を上手くコントロールしながらコーナーをぬけていきます。もちろん怖いです

▲車内より撮影



▲会場は日本でも屈指の高速コース
栃木県にある丸和オートランド那須



▲ピット内で。
雨の中、どんどん変わる路面状況をドライバーに報告。真剣そのもの

シヤ

6
がす
いつ
山
霧に
へは
はと
いか
る…
乙
強ま
てみ
駅作
で中
事?
わ?
にイ
ち
嬉で
に上
った
ら前
し

OB・OGからのメッセージ

シャボテンにおもう

昭和37年度卒 新井忠夫

6月のある日、東の空が何となく明るさを帯びて来たような気がする。梅雨時だけに無理とは思いつつ晴れてくれることを願いつつ、相変わらず降り続く雨の中でのドライブとなった。

山中湖を過ぎ、有料道路を御殿場方面へ少し下ったあたりから霧に霞んだ須走の街が左手に見えて来た。ここの富士自衛隊学校へは自動車部の春の合宿で二度程お世話になっている。ここの霧はとてつもなく濃い霧で、1度巻かれると、にっちも、さっちもいなくなってしまう。当時苦い経験をしたこと等が想い出される……街は少しも変わっていない様に見える。

乙女峠を越え、仙石原を通り芦ノ湖に着いた時は、雨は一段と強さを増していた。人影も無く、ひっそりとした湖畔を少し歩いてみた。箱根といえば、正月の楽しみの一つである箱根往復大学駅伝を夢見て陸上部へ入ったものの、工学科の学生は授業と実習で忙しく、入部は無理だろうということで、あっさりとして断られた事を思い出す。あれ以来走ることを一切諦めて自動車部へ入ったわたしです。

2年生の12月初めだったと思うが、箱根駅伝本番前最後の試走に伴走車を出して欲しいと、陸上部より要請があった。私の気持ちを知ってか知らずか寺田先輩より行くように言い渡された時の嬉しかったことと言ったら格別なもので意気揚々と出かけたものでした。今思うと、箱根の晩秋を走り、豪華な宿に一泊でき、更に豊富な温泉につかる事ができたという事は、学生にとってこの上無い贅沢をさせてもらったものだと思う。

箱根を後にして、道も下り坂に入ったところから雨は小降りになって来たが、苦手とする濃い霧が出て視界はゼロに近いものでした。どのくらいの時間走ったのか、ずいぶん長い時間を感じながら下り切ると湯ヶ原に出た。真鶴岬を廻り、遅い昼食を熱海の手前で済ませ、レストランを出た時には雨も上がり、時々薄陽が射して来た。

伊東に着いたのは、チェックインには少し早い時刻だったので、今日のうちに伊豆シャボテン公園を見ておくことにした。茜色に染まった伊東の街も、やがてネオンの街に変わっていく光景を思い浮かべながら大室山に登ってみると、一面霧に被われて見透せるどころではなかった。

20数年振りに来たシャボテン公園が、想像以上に立派になっているのには驚いた。近藤先生(当時の自動車部の監督)は、この開発と指導に力を入れてこられた。「先生もお年を召されたものですから、年に2度か3度位しか来られませんよ。」と従業員の方は話しており、月日の過ぎ去ったことを、つくづく感じたものでした。ここへは、以前二度程来ている。一度は山県先輩にアフリカ探検から帰ったジープで連れて来てもらった事がある。まだ開発中であったシャボテン公園から東京へ、身長1メートルもある大亀を移動する為だった。死後何日か過ぎていたのか、シートに包まれてはいたが一種独特な臭気があった。ジープに乗っている間は感じなかったが、下宿に帰り部屋に入って初めて下着や肌臭いが染み込んでいた事を知った。これもオープンカーとなったジープへ巻き込んで来る風が甚だしく、後部より吹き込んでいた為と思う。その後、2~3日というものは、鼻に残った独特な臭いが食事の度に気になり苦勞した事が昨日の様に懐かしく思い出される。

松本の寒い冬に大丈夫だろうかと心配ではあったが、一応手入れ方法を聞いて、持ち帰ったシャボテンも今年で3年目を迎え、当時直径12、3センチであったのが今は一回りも二回りも大きく生育している。今年も真紅の花をいっぱい咲かせてくれるものと待ち遠しい。近いうちにもう1度行くつもりでいる。今度は、黄色い花の咲くシャボテンを手に入れようと思っている。どこでも買えるのと思うでしょうが、このシャボテンには、あれや、これやと惚べるものが多い様な気がする。

欧州の交通道徳

昭和38年度卒業 片岡二郎

最近たまたま、ドイツのアウトバーンを走行する機会にめぐまれた。

ハンブルグからエアバスA-300で1時間、スタッドガルドに着く。スタッドガルドは仕事の関係で行ったのであるが、ここはドイツの誇るあの名車“メルセデスベンツ”の本社工場のある所として有名である。

自動車工場と言うとすぐに、デトロイト、豊田市などを連想するが、スタッドガルドは、3時間ほどでスイス国境に達してしまう南ドイツであり、ハンブルグと比較するとかなり暖かい。3月の終わりであったが、木樹の芽が硬いハンブルグと違って木の芽もその柔らかさを増し、ところどころに黄色いれんぎょうの花が見られた丘陵地帯である。この地方は私の目的としてヘイルボロンを含めてブドウ酒の産地として有名でぶどう畑が点在していた。

空港を出てすぐ左のカウンターにカードを出すと、レンタカーが借りられる。サインひとつであり、どこかの国の様に面倒な手続きはない。とにかく欧州はEC内であると少なくとも大陸内はパスポートにスタンプを押すことはない。パスポートにスタンプを押したり、免許証を見たりするのは後進国のする事とのことであった。(たしかに今回の欧州出張ではパスポートには、日本での入出国のスタンプのみであった。)

そういえば、ハンブルグで地下鉄に乗ったがこの地下鉄には改札口がなかった。現地の駐在の方の話ではドイツ人は規則を守る、だから改札は必要ないとの考えで、時々突発で検札を行って違反者には10倍の罰金が課せられるとのことであった。免許証にしても持っていることを調べることで、違反と事故を起こさないことが先決との考えでしょうとのこと。但し無免許での事故は

相当のことを覚悟する必要があるのは地下鉄と同じ考えであろう。空港から出てエレベーターで2階に行き指定された駐車場にBMWが待っていた。私に敬意を示してか、2500ccのディーゼル車で走行距離300kmの新車であった。160マルク（約1万円）で欧州どこでも乗り捨て可能とのこと。もちろん電話付きである。

飛行機から20分でもうアウトバーンを走っていた。アウトバーンを実際に長距離走ったことは初めてであるが、3車線と緊急車線、車線の幅が広く180から200kmでもスピード感は、私のカローラで第3京浜を80kmの速度より緩い感じであった。

約1時間走行して気持ちが落ち着いてから、アウトバーンの走行に“ある無言のルール”が存在することが判ってきた。

もちろんアウトバーンは一部（工事とかインター等）以外は制限スピードは設定されていない。この走行方法であるが、左の車線は車種が殆ど決まっています。ベンツ、ポルシェ、BMWで当方のBMWを一瞬にして抜かすので250kmは出ているのは確か。高速車線の運

転は前より後ろを見ているのだろうか、後ろの車が現れるとすばやく道を譲る。このタイミングは見事である。また、右の車線はトラック（と言っても日本の車の倍の大きさのトレーラーを2台連結）であるが、決して（と言う程）車線を変更しない。たまに前の遅い車を抜くために走行車線に出るが、追い抜きの仕事が終わればすぐ右車線に引っ込む。（とにかくスピードが万事優先する）また、交通標識は殆どない。

日本の高速道路と（呼ばれている）は、絶え間なく車線間隔確認の標識が立つ道路の追い越し車線を、堂々と大型トラックが走り、右車線を小型車がグングンになって続く。そして何10kmに及ぶ渋滞。この渋滞の原因はたいてい料金所である。……速度無制限で渋滞の無いアウトバーンはどこまでも無料である。<そこにはなにか日本に無い、無言のルールがあり、自動車先進国の一端を見た>



81号線でパトカーに合う。アウトバーンでパトカーにあうのはめずらしいとのこと。なぜなら制限が無く取締まるが無いから。パトカーは遠慮して走り、高速車はドンドン追い越していく

夏期遠征始末記 昭和39年度卒業 星野勇介

私の自動車部時代での思い出は数々ありますが、何と言っても3年生時代の夏期遠征です。日本がようやく高度成長政策が始まったばかりで、まだ車社会ではなく、もっぱら物資の輸送手段に過ぎなく、乗用車はまだ高価でちなみにトヨペットクラウンが100万円した時代です。もちろん夏期遠征にクーラーを使用する事すら考えもしない頃、夏期遠征のスポンサーを探した処、カーハットなる物を製造販売をしていた某商社にわたりを付け遠征期間中その性能報告を提出する条件に2台借用いたしました。カーハットなる物は車の屋根に10cmぐらゐの空間をあけ車の屋根全体を断熱材で囲ったビニール製の代物、その当時30台に1台ぐらゐつけていました。（右写真参照）このカーハット、日本の夏には全くと言っていい程、無力の代物でその性能報告を書くのに随分と苦労いたしました。断熱効果は全くなくただ重いだけ。その分の燃費を考えると付ける効果は逆効果のみ。しかし、スポンサーから貴重な実験材料を期待をこめて借用してきたわけですから、本当の事が書けず苦労しました。他の車との比較には屋根に水をまき温度を

下げたり、4℃は差があるとの効能どおり下げるのに苦労しました。2週間の遠征が終わり報告書なる物をもっともらしく数字を加え悪筆の男子部員に代わり女子部員が清書を行いスポンサーに提出しました。しかしこのすばらしい報告書？とは裏腹に次の夏にはカーハットを付けている車を見つける事が出来ず残念でした。



現在・過去・未来雑感

昭和40年度卒業 安達和良

昭和37年、入学と同時に迷わず入部、部室は畑の中の先輩方手づくりの掘っ建て小屋でそのすばらしかった事、近頃の観光地になれば景観条約とかで撤去を命ぜられそうな代物であったが、中身は部の歴史上最多の入部者を抱え活気に満ちていた。入部当初のセレモニー、練習、夏季合宿等を人並に経て、待望久しいライセンスを手にしたのは11月5日とその年も残り少なくなっていた。やっと手にした免許を武器に無謀にも翌日からアルバイトに精出し忙しかったこと。オリンピック工事の真っ最中で造園会社、運送会社は人手不足で運転未熟の私でもその日から使って貰えたものである。日当たりの良い所へと当時部室は情報交換所の機能も果たしていた。駒沢公園には当時私が長尺トラックで運搬、シャベル一本で穴を掘り、チェーンブロックで下ろして植え、鳥居で支え、ドラム缶で運んだ水を与えた樹木が大きく育っている筈であり、再会して見たいものである。三十九年の東京オリンピックでは各大学自動車部に選手送迎車の運転手依頼があり、我が部でも3・4年生が参加、当時のアルバイト料は一日700~1,000円が相場であったがこの時は当日2,000円、新車を与えられ、コーラは無料で飲み放題、ユニホームのおかげで各競技場もフリーパス、車内での外国人選手との交流等大変豊かな気持ちになったものである。当時はまだ都内も少々のラッシュはあってもかなり走れたし、首都高速も機能していた。

44年10月、15年間住み慣れた東京を後に故郷にUターン、時々車での上京を続けているが、年々のラッシュの酷さ、最近では車で行く所では無いな!と思うこともある。今春3月27日、大学受験に失敗した息子と高3の三女を乗せて島根半島七類港を出発、国道9号~米子道~中国縦貫~名神~東名と11時間かけて上京、用賀ICを世田谷通りに降りて成城学園へ向かったところ午前10時だと言うのにその渋滞の酷いこと、優に2時間もかかり車での移動



を断念、新宿西口地下駐車場に車を預け、電車で移動、代々木ゼミナールでの進学相談、幡ヶ谷の親戚訪問、目黒での賃貸マンション契約、再び新宿での従兄弟会等の所用を済ませ、午後11時帰路についたが30分300円の駐車料金の高さに改めて感嘆、帰路静岡市在住の二女の所へ寄り道したが市内で1時間300円、松江のワシントンホテル駐車場一晩200円、七類港、境港、隠岐各港無料、これはこのまま首都と他との格差である。ラッシュ無く、通勤5分、のんびりと過ごせる隠岐での生活もまんざらではないがこれ以上東京を過密にして欲しく無い、格差や汚染も縮小してほしいとも思いしきり。人や物に埋もれ、膨張し過ぎた東京、災害に弱い東京、これからは地方の方が夢があるかな?

政治、経済、教育等々大変革の時、農大生の責務は益々重大です。将来に夢のもてる美しい地球を守り、心豊かな社会の建設に寄与しようではありませんか!

東海支部発 各地の皆様へ

昭和40年度卒業 市川 誼、スタッフ一同

全国のOBの皆様方お元気でしょうか。

こちらは東海支部です、と云っても馴染みが薄いかも知れませんが、平成4年9月に全国のトップを切って東海支部が発足致しました。今のところ、これと云った活動はして居ませんが、発会式の時に顔を合わせた程度です。まあ、オリンピックの開催される年にでも(つまり4年に一度)集まって酒でも酌み交しながら雑談や、懐かしい自動車部の思い出話でもしようや、と云うのが、ねらいです、そして支部員の中で何かあったら助けてあげたり相談にのったりしましょう、との事です。

そんな状況の中で話題になったのが、愛知県山奥に湧き出るミネラルウォーターの話です。

何と!この湧水が万病に効果があると云う話をしたら、早速、

数名の支部員に興味をもっていただき、その湧水を汲んで持ち帰り、以後定期的に水組ドライブへ出かけて健康に役買って居ると云った様な事もありました。

全国的に平成不況と云われ暗い話ばかりの中で何とも、ほのぼのとした話であると自負しています。

そこで皆様方に提案ですが、このような地方の支部を是非お作りになっては、いかがでしょうか。折しも衆議院議員の小選挙区と全国を9つに割ったブロックの比例区になりますので、この9つのブロックを参考に設定すれば、そんな時何かの役に立つかも知れません。

東海支部より愛をこめて全国のOBの皆様へ

私の同輩も卒業より早30年近くになります。先日、久しぶりに渡瀬氏より60周年の件につき電話をいただき「お前、私の代わりに何か書け！」と言われ、安請け合いはしたものの、さて何を書いて良いものやら当時のアルバムを見たり、50周年の記念誌に再度目を通してみると、主たる行事及び内容が理路整然と諸先輩、後輩により話されているので、とりあえず当時の事を思いついた触りだけ書いてみました。最近と異なり学生が免許を取ったり、個人専用の車を持つ人は少なく、車好きな人は自動車部に入るのが一つの選択であったように思われます。

クラブに入って、免許を取るにも学内のグランド片隅にあった30m×50m程の超ミニコースで2日に一度10～15分の運転練習、それも何か失敗すると、腕立て伏せのおまけ付き、それでも試験間近、教習所にて、3～5時間程習いに行き、夏休み迄にはほとんどの方が取得していました。当時、地方では免許を取る前に車を購入し、県の試験場に無免許で運転して行き、4～5回滑って転んで取得したりした方もおられ、教習所で練習するより割安で運が良ければ免許が取得できた良きご時世でした。

良きご時世は地方だけでなく都内も同様でした。新入部員歓迎ドライブ（高尾山）の時プリムス1950年式に同乗させていただき20号線でエンスト、同乗の先輩、至極慌てず後ろに止まった車に軽く会釈、おもむろにボンネットを上げ、キャブレター（エアクリナー無し）に片手をおいて、運転者に「よし！回せ。」同時にその手の平をパタパタさせ元気よくエンジンスター、ボンネッ

トを閉めて、また並んだ車に会釈して発車。応援団員の送迎依頼にてトヨタDA70で大学より神宮球場までホロの中に入ってしまったえば何人乗ってもというわけでもないが、20人程荷台に乗せて、世田谷通りを走って行き、しばらくしてフェンダーミラーで後方を見ると、四角のホロがウエスタンの幌馬車のように丸く膨れているではないか。荷台には7人分の席しかないでサイドバタ板に腰掛けて幌に寄り掛かっているのである。そればかりでなく、排気ガスで苦しくなったのか、前後の幌を外し始めたのである。パトカーを心配して走っていると、案の定白バイが付いて来ている。しかし、停車の指示も出さずあきれた顔をして通過して行った。自動車部のネームか荷物？の詰襟の学生服のご利益かは、さだかでない。

臨機応変、感謝のお巡りさん……学連本部までダットサントラック（スターター、クランク棒持参）で出掛け、青山学院前の軌道の上でエンスト、バッテリー非力の為、押しがけと合いになった。一人が押し始めるとどこからかお巡りさん……注意を受けると思いきや「青山の左隅に坂道があるから」と部車を一緒に後押し、出られた所で、お礼を言おうとしたら、「早く乗れ、その坂でエンジンをかけておれば裏通りに出られる。」との指示……

今、思えば入部して最初の整備はクランク棒の握り方ではなかったかな？良きクラブ活動のひとつを取り止めもなく書かせて頂きました。今後、益々の自動車部の発展を祈念して筆を置かせていただきます。

思い出すままに

昭和42年度卒業 赤羽徳門

30年近く前を思い出す事は大変な事である。昭和39年農大に入學すると共に、運転免許証欲しさに迷う事なく自動車部に入部した。それまでバイクにも乗った事のない私だったが、6月の下旬にはすでに普通免許証が取得でき、この喜びは今でも忘れない。教習所に練習に行かないで一発で合格できたのは、当時の先輩の指導の厳しさと、それに応えた努力の賜物と思っている。当時部室は馬事公苑前の近藤先生の育種学研究所敷地内に居候していた。又練習コースが現在の畜産学科建物の所にあったのが幸運であった。部活動における上下関係も非常に和やかで居心地良く、授業をサボって部室に入りびたつたものだった。

そんなある日、3年生の先輩がキャデラック53年の整備を終えて試運転に出かける時、「赤羽、免許証持ってこい。」と言われ、免許証を持って同乗した。他にも女子1年生1人。そして実際にハンドルを握らせて頂いたがハンドルは軽く、ブレーキは良く効き、気分は最高だった。試運転が終わって部室に帰った後、2年生のある先輩に私たち2人は呼ばれ、「運転したか？」と聞かれ「ハイ、しました。」と答えた所、2年生でも誰も運転した事のない車だと説教された事を思い出す。

1年生の夏休み第5回遠征隊は北海道に出かけた。参加者が少なく、免許証を取得したばかりの私も誘われたが、苦学生だった

が故、資金がなく断念した。以後第6回、7回の遠征も参加せず、遠征の経験なしに終わってしまった。しかし、その後続いている遠征隊には、信州方面へ来られた時は、私の勤務する㈱竹屋松本工場へ寄って頂いたり、木曾駒高原・白樺湖へ激励に出かけ後輩と親交を深めている。

夏の合宿での思い出。木曾の蕨原高原での合宿であったが、私は父母のタバコ耕作の手伝いで欠席した。ところが初日何と塩尻の自宅を先輩が訪ねて下さり、出席する事となった。その合宿にはコワイOB（原田先輩）も参加して居られ、路上練習・ラリー・整備と大変勉強になった。原田先輩とは第31回新春ラリー（平成5年1月）の後、大森の東急インに同宿させて頂き大変お世話になった。山中湖での合宿では、箱根芦ノ湖方面への路上練習の折、美しい景色は大変印象に残っている。

1年生の冬、前田先輩と寮の私の部屋で新春ラリーの準備をしていて、暖を取るため、炭を起こし2人とも一酸化炭素中毒にかなり倒れた思い出。夜中に腹が減って近くにいた関屋先輩のお宅におじゃまし、冷蔵庫の中身を空にし、翌朝先輩がお母様に叱られたと言う話。等、とりとめもなく思い出してきた。

4年間自動車部に在籍し、卒業後もこうして先輩・後輩のつながりが増々長く深くなる事を大変幸せに思っている。

自動車部ありがとう

昭和43年度卒業 坂本和直

〈東京農大自動車部〉この名前を見るとタイムカプセルに乗った如く私は、昭和四十年の現役部員にもどり、今でも折りに触れ自動車部の情報を提供して下さる部員の皆様に心より感謝申し上げます。

今回、六十周年を迎えるにあたり衷心よりお祝い申し上げます。

私の自動車部活動での思い出は、一年生の歓迎ドライブ、用賀の部室から球場近くの練習場までの車押し、馬事公苑の十周ランニング、伊豆遠征中でのDA-70のライナー交換、中でも小雪が舞い徹夜で行ったオースチンケンブリッジのクラッチ交換は苦勞しました。この車はエンジンとミッションをセットで外さなければならなかったのです。修理完了しても動かない。原因はクラッチ板の裏表の取付ミス。実になさげなかった。

合宿では、岳麗山荘、千葉県館山市。遠征では東北地方十八泊十九日のチャリティーキャンペーン等思い出は尽きることがありません。

しかし、四年間の部活動は当時として肉体的に決して楽な物ではありませんでしたが、社会に出て振り返ってみると全てが楽しい思い出としてしか残っていません。

入部七十二名、卒部八名、私はこの内の一人として自称農大自動車部卒業を自負しています。

部活動では、運動技術、整備においても他の同僚より勝るものはありませんでしたが自動車部卒業の気持ちだけはだれにも負けていないつもりです。この自負心が今日までの仕事にどれだけ役だったか分かりません。

我々の職場にも、〇〇大学卒業の方がいますが、ほとんどの方がクラブ活動には縁のない方ばかりです。

この様な方は職場では利己主義であり、他の人がいくら忙しくても全く感知せず、仕事においても無責任としてしか見られませ

ん。但し、言い訳については非常に上手です。

反面、クラブ活動を経験した方は物事に熱く燃えることを知り、他の人の立場に立って冷静な物事の判断ができていると思います。又、苦境に立った場合でも諦めず必ず解決の糸口を見いだしています。仕事（行動）の結果は一つしかありません。わたしは、何事も前向きな姿勢で取り組むことをクラブ活動で教えられました。クラブでの先輩、後輩のけじめが職場での規律につながっています。

四年間のクラブ活動は、私にとって何にも変えがたい教訓であり、この経験は折りに触れ家族と話しています。

まだまだ思い出は語りつくせませんが、農大自動車部卒業は私の人生でもっとも価値ある事であると信じています。

農大自動車部が今後益々発展することを850km離れた広島よりお祈り申し上げます。



中部日本遠征の時

在学当時の部室

昭和42年度卒業 深沢邦治

私たちが入学したのは、1964年東京オリンピックを成功させようを合言葉に、競技関係の施設や高速道路、更には新幹線などの建設ラッシュの最中であった。

当時の部室は遺伝育種学研究所の片隅をお借りして、先輩方が3年前前に自らの手で苦勞されて建設されたものだと伺っていた。建設費用など無いなかで自動車部という特徴を生かして廃材を貰い集め、アルバイトをして建材を購入し、部員が設計施工しての建物であった。掘って、片屋根平屋造りで一部二階構造になっており、ロビー更衣室、事務室、工具室、作業場ピット付を備えた苦心の傑作であった。

部活動は砂利道を挟んで西側が用賀農場であったため、公道でありながら通行車両も殆ど無かったので、この砂利道を利用して、ジャッキアップしての分解整備から、罰としての腕立て伏せなども路上で行ったりして腹に土がつく始末。それ故雨天とも

なれば急ぎの事が無い限り休部状態である。また下級生の頃は先輩の指導がなかなか厳しくて恐かったけれども、これが大学のクラブ活動かと思えば、それ程辛くもなかった。時たまナンバー無し部車を走らせていてパトロールカーにきつく注意をされた事もある。

3年の6月頃の台風の時、出張で上京された前田先輩が私の下宿に入ってくるなり「部室は大丈夫か」と言われた。これ位では心配する程では無いと思ったが「見に行くぞ」と言われたので風雨の中を部室に急いだ。OB方にとってはそれ程大切な部室であったのだ。心配は的中した。屋根が舞い上り北側に並べてある大切な部車の上に落下していたのである。先輩は大層立腹され、一泊していったものの翌朝まで一言も口を開かず、帰り際に「すぐに復旧しておけ」と言い残して出張先に出掛けて行ってしまった。かけがえのない大切な部車であり部室である事が先輩の表情から

感じられ、私の心にも責任を感じたのを覚えている。翌日から濡れた書類の片付けや復旧作業がはじまった。1年生たちも協力して取りかかり苦勞の末、部室は復旧したのである。先輩方が建築された部室の有難さが不自由した今、初めて感じられたのであった。後輩たちもこの部室復旧作業を通じて、後に勉強になったのではないかと思う。

新春ラリーは1年次第4回であったと思うのが、今年で32回目

となった。その都度、部長先生をはじめとして近郊のOBの方々も部活動の面倒をみて下さっており、その姿を見ると有難く本当に頭がさがる。

60周年の記念事業が催されるこの時に、私たちの通って来た在学当時を思い出し、今後も続けて発展される母校自動車部に対し、OBの一員として地方から、拍手とサインを送ろうではないかと、東海地区の皆様方と語り合っている次第である。

21年目の定例会

昭和46年度卒業 竹井英明

定例会、現在ではどの様になっているかは全く分からない。我々が現役であった頃は、これは無礼講の飲み会であり大変なものであった。

我々同期卒業生は11名である。卒業以来各人の結婚式の時に集まったりしたが、それでも最後の者が結婚して以来10年以上が経過してしまつたところで、福井県に住む西森がたまたま上京した際に卒業20年になるので、皆で集まろうではないかと云つたことから、この事が始まつたのである。

しかしながら、いざ企画となると仲々進まないものである。という私自身も無責任を決め込んだ一人ではあるが、今回は我々同期生の中心地をと云う事で関西で行う事となり、宝塚に現在住んでおり奈良に明るい藤本（旧姓柴山）と最初に提案した西森が幹事となり企画される事になった。

21年目の定例会はこうして平成5年9月初旬に開催された。

参加者は九人となり仕事などの関係で須賀（東京）、角田（群馬）が不参加となつてしまつた。

そしてその当日午前中に台風が西日本から東日本を通過しており、皆が集まれるかと心配された。愛媛県吉田町から来る高田は飛行機が欠航となり、その上列車も不通で飛行場へ向かつた車でそのまま10時間以上を掛けて奈良へと到着した。自動車部魂か！西森はグイヤの乱れた列車で、向井（旧姓前内）は出張の帰途長

野からと、何とか到着した。

我々東京方面からは下田（唯一夫妻で参加）の車で高久、番場、私が乗って出発したが、東上して来る台風によって東名高速の御殿場過ぎて、視界が全く利かずその上強風雨の為に停車を余儀なくされ、奈良まで行けるのかとの不安が出て来たが、幸い天候も回復して来たがここで大失態をしてしまつた。

静岡県由比町の望月を蒲原バス停で乗せる事になっていたのだが、彼が遅れていた事もあり通過してしまつたのである。次の日、由比で停車し連絡を取りやっと出会う事が出来たものの大変な時間ロスとなつた。20年経つた自動車部員である。この様にして何とか九名無事に奈良に集合する事が出来、21年目の定例会が始まつた。

さすがと云うか不思議なものである。10年以上も会っていないものの、顔を会わせたその瞬間から21年前の現役当時の自動車部員になってしまうのである。勿論、話題は多少変わっているものの話し方飲み方などなど昔のままに戻つてしまつているのである。場所が育種研の中にあつた部室とは比較しようもない程の雰囲気、格式を持っていたにも係らずである。

この様に20年を経ても会えばたちまち昔そのままになれる仲間がいる。これも自動車部が有るからにほかならない。

昭和47年度卒業 大島孝史

私が入部したのは、昭和44年の入学早々でした。入部の動機はもちろんクルマが好きだったからですが、免許の方はともかく、クルマに関しては今は状況がかなり違つていました。一言で言つてクルマの数が圧倒的に少かつたのです。当然町を走っている数も少かつたし、とにかく少なくとも今よりクルマは貴重品でした。したがって文無しの学生の分際でも自由にクルマを運転できるのではないかと思つて入部した訳です。

当時の部室は馬事公苑のそばにあり、部車共々相当な代物でした。ただ、先にも書いたような状況下にあつたので、クルマについては、とりあえずタイヤが4本付いていて、たいしたトラブルも無く動いてくれれば大満足でした。日常のクラブ活動や合宿での辛さ、楽しさといったものは、いつの時代も変わらないと思

ますが、それで思い出されるのは、千葉県旭市での合宿中に、日本赤軍のよど号ハイジャック事件を聞き、旧部室時代の活動中に三島由紀夫の自衛隊襲撃事件を知つたのですが、それだけ大学時代は自動車部で過ごした時間が長かつたということでしょう。

この他にも、新春ラリー、遠征、宴会、収穫祭での活動などなど、数え上げると切りが無いほどの思い出が蘇つてきますが、たぶん当時の仲間と会つて話をすれば、もっと色々な話が出てくるでしょう。いずれにしても、どのOBの方々もきっと同じだと思いますが、自動車部に入って活動してきて本当に良かったと思います。周囲の環境はますます厳しくなつてきているようですが、現役の諸君には、これからも良い思い出をたくさん作つてもらいたいと思います。

昭和48年度卒業 長島 均

私が卒業して20年が経ち時代も大きく変化しドイツの統合、ソビエト連邦崩壊など世界も新しい時代が来ているようです。

私が入部した頃、部室は馬事公苑隣にあり、ほったて小屋でおせじにもきれいといえる物では有りませんでした。雨でも降れば足元は泥だらけになってしまい作業がしにくかった思い出があります。

私が入部したきっかけは、石原裕次郎主演『栄光への5000km』を観て刺りにもかっこ良かったので、自動車ラリーがやりたくて入部したけれど、世の中そんなに甘くなかった。部室に行けば掃除、雑用だけで1年生の前半はつまらなくて辞めようかと何度か思いましたが、12月に青山学園クリスマスラリーに参加させてもらったのが辞めないで済んだ理由だったと思います。

そして2年生になって学内の新しい部室に引っ越し、私はこの頃から自動車部が少しずつ面白くなってきました。

自動車部での良い思い出の一つは3年生になって武蔵野自動車連合役員になり、昭和47年10月21～22日、武蔵野学生自動車連合主催800kmラリーを開催した時の事です。

参加校は、早朝東京をスタートし中央高速で富士吉田市を通り山梨県・群馬県・長野県・栃木県の一都四県を2ステージでおこなったラリーでした。コースどりは夏休みを利用し武田先輩と農工大の水野君とで約三回全コースを走り作成しました。800kmを三回ぐらいで作り上げるにはずいぶん無理があったようで、当日峠に入ってから霧が出たり雨が降ったり天候にも左右されたり、オフィシャルが事故をおこしたり色々アクシデントが重なり26CPの内5カ所がノーチェックとなり大変残念だった思い出があります。



昭和48年 旭飛行場跡地での合宿

す。

我が農大自動車部は総合八位の成績でした。その時のエントリーメンバーは、第1ステージ間瀬英生君・星野友司君、第2ステージ石田真君・北山友美君で参加車両はブルーバード1300SS（当時は部では最強のラリーカーでした）。

前日から三日間ぐらい殆ど不眠不休で競技を運営し、つらかったけれど今になるとよい思い出です。

その後オイルショックの影響で自動車ラリーは下火になり、代わりにダートトライアルが始まった頃です。私も卒業後はダートラへ変更しました。

最近では年に数回走行会に参加しサーキット走行を楽しんでいます。

倶楽部の思い出

昭和49年度卒業 宮崎興志郎

去年の秋、仕事上の講習がマルマ重車両であった時、久々に部室によってみた。部屋はDA70がよく置いてあった所に移っていた。昔の部室はほかのクラブの部室になっていた。合宿用の小屋は壊されピットの脇にあった倉庫は取り払われていたが、しかしピットだけは残っていた。大学、いやクラブを卒業してから19年目になった今でも思い出すのは、うす汚いツナギを着て大学の周りをかけ声あげて駆けた事と、失敗するとよくやらされた腕立て伏せである。しかし、楽しい事もたくさんあった。特に地方に遠征した時の、諸先輩たちとの交流、地方のいろいろな町並を走る楽しさ、キャンプでの共同生活、そして遠征途中で起きたいろいろなトラブルなどが楽しい思い出として残っている。

ラリーの思い出もある。それは、都立大ラリーの時であった。4年の先輩がドライバーで、自分はナビで、同年の桜井が計算だった。途中、自分のミスでミスコース。それを回避しようとして戻ったが今度は霧で先が見えないためスピードが出せなかった。

仕方なくレスコンを取ることにした。そんなこんなでゴールはしたが、今度は閉会式の会場に戻る途中でプロペラシャフトを落としてしまい、会場に戻ることができなくなってしまった。部室に電話をして整備の先輩に修理をしに来てもらい、なんとか閉会式には間に合う事ができた。結果は散々な事だろうと思っていたのになんと第3位であった。

また、苦い思い出もあった。それは八王子にあるトヨタの整備工場で行われた整備競技大会での事だった。部品の外されている車を整備してエンジンをかけ電気系統の始業点検をする、という競技だった。エンジンはどこのチームよりも早くかける事ができ、時間を稼ぐ事ができた。そして電気系統の点検に移り、ウインカーの点灯しない事が分かったのだ。ヒューズ異常無し、電球異常無し、配線異常無し、そしてスイッチかなと思い、外しにかかる。審査委員からそこはないとの指示があった。もう1度調べてみたけれど分からない。時間は刻々と過ぎ、修理できずに終わっ

りー
関々
乗せ
出さ
先輩
修理
い出

卒業

平
いま
社に
私
おり
りま
話
春も
一や
日産
り、
当
はグ
ード
ジン
して
を持
だっ
私
は学
活躍
が
コー
毎
1つ
りー
は定
と思
た
2人
グル
して
今の
卓

てしまった。結果は散々なものだった。結局ヒューズの不良品だったのだ。目で見えるガラス管のところのヒューズは切れていなかったのだが、金具のところのそれが切れていたのだ。今、考えてみると笑える事だが、当時はがっかりした。まだまだいろいろ

とあるが最後に自動車部においてよかったなと思う事は、多くの諸先輩、多くの後輩、そして19年たっても2年に一度の家族ぐるみのつきあいのできる友人をもったという事だと思います。

昭和50年度卒業 川井裕二

農大自動車部の部長、監督、OB、そして現役の部員の皆様、こんにちには。お元気にお過ごしのことと思います。

農大を離れて、もう20年になるのですね。とても信じられませんが。

このたびは、記念誌を発行されること、誠にめでたうございます。

さて、私どもの入学時には、約70人の新入部員が登録されました。それが、卒業時には7人。それだけに大学4年間、クラブで頑張った同期の友には、たとえお互いの連絡は余りなくとも、いつでも非常に太い絆でつながっている懐かしさを覚えます。

寒さの厳しい冬に、ついDA70の冷却水を抜き忘れ、エンジンを割ってしまった事がありました。当然、先輩より愛の修理命令が下り、日本中ほとんど無くなったエンジンを探し回り、1日で修理したり……。

こう言った苦労話は、思い出そうとすると山ほども出てくるのですが不思議ですね。なぜか、普段は何でもないことばかりが、楽しい思い出として思い出されます。

たとえば、2年生になり、下級生の運転朝練。朝5時前に目黒に下宿していた吉田耕三君が、赤いホンダN360でわが家に迎えに来ます。学校まで25分余りの道を、眠い目をこすりながら、私が運転。しかもハンドルを持つ手は右手だけ!!左手は朝食のパンを握っており、しっかり運動前の腹ごしらえです。当然、シフトノ

ブを動かすのは吉田君担当。彼も左手はパンを食べながら、右手だけの操作。慣れてくると、二人の息はぴったりと合い、ダブルクラッチは当たり前、ヒロルアンドトゥーも楽々とこなし、笑いながら登校とあいなるのです。

運転するというのは楽しいものです。映画『バック・ドゥ・ザ・フューチャー』のように、馬車であろうと、宇宙空間をとびかうビークルになろうと、人間はある場所から他の場所へ、移動しながら景色や運転操作を楽しむ喜びを求めつづけることでしょうか。

人生は、魂が、肉体という乗り物を得て生まれおち、長い道のりを進んでいくのに似ています。学生時代、社会人、そしてシルバー期とその時々で、肉体は変化してゆきますが、それはまるで年齢にふさわしい自動車をその時々で選んでいるような物です。でも、ドライバーである自分自身はいつまでも自分自身で、変わる事はありません。大切なのは、その時々で何を得たかです。

今の時代、自動車部というクラブ活動を通して学んでいく道を選択する学生は稀なのかも知れません。しかし、それはとても貴重な事です。

人生で苦しむ必要はありません。大切なのは、監督や諸先輩から人生の知恵を学び、友を愛し、車をよく手入れし、人生を精いっぱい楽しみながら、かけがえのない経験を積むことではないでしょうか。

昭和54年度卒業 鈴木克幸

大学を卒業して、はや15年の月日が流れています。今の職場につき、無事に所帯をもつことができ、子供も二人（長男・三歳五カ月、次男・一歳九カ月、この原稿が載る頃にはもう一人産まれている）に恵まれ幸せな日々を送っております。部の仲間とは、年賀状くらいでしか連絡がとれておりませんが、若干、結婚していない仲間もいるので、又、会える機会はあると思います。又、子供もだいぶ大きく成長しましたので、足を伸ばして会いに行こうと思っております。自動車部に四年間所属していても今は、全くと行っていいほど車には関心がなく、F1も観ませんが、この間のセナの突然の事故死には、大変な衝撃をうけました。今は、Jリーグに無我夢中になっていて、ひいきのチームは、地元、静岡の清水エスパルスとジュビロ磐田です。残念ながら前期、エスパルス念願の優勝には、届きませんでした。ニコスシリーズ（8月10日開幕）には、ぜひとも優勝してもらいたいです。そして、今、

自分自身が楽しんでいるスポーツはテニスです。4年くらい前から始めて今も続けています。テニスは、オールシーズンできるので身体を鍛えるには、最適だと思います。が、今年に入ってから右ひじが「テニスひじ」（リンパ線みたいなものが炎症をおこす）にかかってしまって、思うように自分のテニスができてなくて、とてもくやしいのです。原因があまりつかめていないのですが、要は、基本的に上手くないのです。テニスは、年齢的に無理をするとはよくないのでしょうか？やはり、年には勝てません。

話は、変わって、クラブでの思い出といいますが、初めて入賞した、電通大ラリーです。その当時は、まだタイガーの計算機を使い、100メートルごとに「何秒遅れです。何秒進みです。」と、ドライバーに連絡しながら競技を行っていました。その前に参加した、法政大学主催のラリーで途中リタイヤして、先輩から大変叱られ、坊主で参加したこのラリーで、入賞することができ、ラ

り責任者として、ひと安心することができました。日産510で全関ダートトライアルで優勝したこと。途中で横転し、エンジンを乗せ換え、フロントガラスなしで三位に入賞したことなどが思い出されます。また、夏の遠征で車が途中で故障して動かなくなり、先輩から借りた車もエンジンを焼きつかせてしまい、道路沿いの修理工場の方に大変お世話になった事も、今思えば楽しかった思い出となってしまいました。他には、整備大会の自炊合宿の暑か

った事など色々と思い出がありますが、クラブが今でも続いている年が明ける度に、葉書や封書で大会成績が送られてくる事はすばらしい事と思います。私自身もクラブで4年間生活してきて、決して悔いに残る事はないと、そう感じております。これからも、70周年、100周年に向かって、大きく飛躍して頂きたいと祈っております。

卒業13年目を迎えて

昭和56年度卒業 黒田亮一

平成3年3月、私は新たな目標に向かって第一歩を踏み出していました。それまで勤めていた職場を辞め、農大OBが経営する会社に就職したのです。

私の住むここ秩父の地には、大勢の農大OBが在住又は勤務しており、「秩父常磐会」と言う名称で50数名の会員を擁すOB会があります。そこで今の会社の社長と出会ったのです。

話は変わりますが、私が農大自動車部に入部したのは昭和53年、春も盛りのすばらしい晴天の日でした。部室には多数のトロフィーやカップがあり部車も今はなきラリー使用のブルーバード510や日産パトロール、トヨタDA70(トラック)等いろいろなものがあり、胸が高鳴ったのを思い出します。

当時、部として最も力を入れていた競技にダートクロス(当時はダートトライアルをこう呼んでいた)がありました。ブルーバード510をニッサンカラーに塗装し、足回りをレースB仕様、エンジンをL-20B(L型2000cc 4気筒)に替えてありました。当時としては、これでも戦闘力No.1の仕様でした。1年当時、私は免許を持っていなかったのでダートラ合宿に参加できず、とても残念だったのを思い出します。

私の最も印象深い思い出はやはり「ラリー」でしょうか。当時は学生ラリー華やかなりし時で、海外ラリーでは日産自動車が大活躍していました。私も1年の頃からなんとなくラリーに興味があり、2年の時はラリー責任者の先輩とともに、新春ラリーのコース取りによく出かけたものでした。

毎年秋になると各大学主催のラリーが行われ、私も2年のとき、1つ上の雨池先輩、同期の三留、後輩の田村とともに「農工大ラリー」に出場し、ポロ510で優勝した?記憶があります(この記憶は定かではないので悪しからず)。なぜ4人も乗ってラリーやるの?と思われるかも知れませんが、昭和60年以前のOBならわかっていただけだと思います。ドライバーとナビのほかに「計算」担当が2人後席に乗っていたのです。「タイガー計算機」という積算機をグルグル回したり、逆に戻したりして100m毎の遅れ、進みを計算してドライバーに伝える役目でした。これが結構役に立つ代物で、今のラリーコンピューターには及びませんでしたが当時あった「電卓」よりはましでした。こんな昔話をしてもおもしろくないので

このくらいにしておきますが、時代の進歩とともに自動車部の内容も様変わりをして、時々部に行くとなんとなくノスタルジックになるのは私だけでしょうか?

話は変わりますが、今の私の仕事はゴルフ場のコース管理(芝の管理や施肥、薬剤散布等)です。この仕事についてはじめて分かったことですが、この業界にも農大OBがたくさんいるのです。ゴルフ場関係、肥料会社、薬剤会社等多岐にわたり様々な業種の方がいます。

これらの情報交換の場所として「農大グリーン研究会」があります。この会ではゴルフ場に関する土壌、芝草、薬剤、機械等の研究会や講演が催され、プレーを楽しみながらの親睦会も行われます。私のような駆け出しの若輩でも暖かく迎え入れて戴き、ご指導や激励の言葉を戴いています。これも農大で培われた人間性によるものと改めて感謝しています。

私は先に書きましたようにこの業界では駆け出しです。それで社長の命により2年間ほどある既設のゴルフ場へ研修に行っていました。そこには約20名のコース管理の人達がおり、機械の整備をする人もいました。

ゴルフ場の機械は単気筒、2気筒の空冷のものが多く、農機具に類したものでアタッチメントが違うくらいです。研修の後半になって先方の責任者から『おまえも会社に戻ってから苦勞するから、残りの期間に機械の整備を教えてもらえ』と言われました。私は心の中で『しめた』と思いました。言うまでもなく学生時代の経験が生かせるチャンスだったからです。(実は整備は苦手でした。)私は学生時代に自動車部員だったことを誰にも話していなかったの、それからの私を見ていた人達はいささか驚いた様子でした。

全くのゼロから入ったこの世界で早3年が経とうとしています。卒業10年目に転職し、今13年目を迎えて、農大で得た先輩、後輩の絆は一生離れ難いものだとつくづく感じる今日このごろです。

最後に入部以来お世話になりました部長の淡谷先生、いろいろと指導して戴きました村田監督、各OB、OGの皆様のますますのご健勝をご祈念致しますとともに、現部員の一層の活躍を期待致しまして終わりと致します。

不治の病

昭和57年度卒業 片上裕之

この病気には、まだ正式な名前はありません。くるま道楽、自動車趣味、「あいつはアホや」、間違い等、色々な呼び方があります。

たいてい、男女を問わず18歳くらいで発病し、普通は20歳代前半で完治します。しかし、ごくまれにこの病気をもたらす快感というか、楽しさを味わってしまった人は重症になってしまいます。そうなるこの病気は大変で、やれ、もう社会人になったんだから、仕事が忙しいから、結婚して子供ができたから、もういい歳なんだから、と本人も周囲の人も押さえようとするのですが、少しでも目を離すとすぐ再発してしまいます。

症状は千差万別、洗車するといったら、一日中やっている人。オーディオや無線機をいっぱい積み込む人。色々なパーツを付けて車をドレスアップする人。機械いじりが好きで、自分で整備する人。しかし、中でも重症になりやすいのは、昔乗りたかった車を集めたり、珍しい車の魅力に取り憑かれた人と、車を早く走らせることに魅せられてしまった人でしょう。

モータースポーツはこの世に二台目の車ができたときからもう

始まっていますが、より早く走りたい、もっと上手に操りたい、という欲望は一部の人にとってこれはもう性というほかありません。私は、三年前にユーノスロードスターという魔物を手に入れてから、再発してしまいました。ライセンスを取り直して公認競技に出ようとか、そんな気はありません。が、困ったことに今は昔と違ってサーキットの走行会が花盛りで、そこには車を精一杯走らせる快感に魅入られた連中が、同病相憐れむというか、集うというか、元気印のお兄さんから、昔取った杵柄の不良おじさんまで本当に楽しそうに一日を過ごしています。私は、家族を欺き、仕事を後輩に押し付け月1回ペースでサーキットに通っています。メンテナンスにいくショップでとうとう常連と化し、お客さんに店のスタッフと間違われてしまうところまで行ってしまったこの病気、もう治すのは諦めて、永く付き合って行きたいと思っています。(病名-自動車部後遺症……)

農大自動車部60周年、おめでとうございます。

近年、現役の諸君がとつても好成績を納めてくれて、OBとして誇りに思っています。今後ともどうか頑張ってください。

昭和59年度卒業 金井和宏

今回、60周年記念誌の、昭和59年度卒業生の原稿を引き受ける事になりましたが、仕事柄、単なる文字を書く事はありませんが、文章を構成する事はありませんので、非常に拙い文章になる事を了承願います。また、本文中で、人物を説明、批評しますが、全く私の主観ですので、同期諸君、諒とせられよ。

まず50音順で、紹介します。「石垣稔」、食品会社勤務、昨年4月から、海外青年協力隊でフィリピンに赴き、現在に至る。「襟川仁志」ダートラ、ジムカーナ責任者であったため、部費の足りない分も、自分の小遣いで補って、試合車を作った様である。「大川和利」、一度ガケに落とした車を卒業するまで乗っていた気合いの入った男であった。「大野喜裕」、2年間主将、ご苦労様でした。漢字に多少難あり。「大甕和久」。同期の結婚の時、毎回サイコロで皆の金をまきあげるギャンブル好き。遠征の時、国士無双を振り込んだのはいい思い出である。「木暮重仁」。我々が現役時代、きってのマッショであった。フィギア合宿の時、彼が運転するふそうの下で小石がはじけるのを見たのは私だけではないはずだ。「中野利明」。アパートが近所であったため、よく車に乗せてもらって帰ったものである。同期で最初に結婚した。何をかくそう彼

の式に出席するため、初めて飛行機に乗りました。「中村清輝」お調子ものである。なにしろ元旦が誕生日。おめでたい男であった。が、彼の的を得た一言で役員会の議論が終結する事もしばしばであった。「中村雅量」。数年前、皆さんの所にワインの案内が郵送されたと思うが、その張本人である。朝が弱かった。合宿の時、寝床から出るのはいつも最後であった。「金井和宏」。私である。前出の中村と一緒に、ラリーの交渉をまかせられ、そのためではないが、一番卒業が危なかった。2人で交渉に出かけ、日清食品でカップヌードルを何箱ももらってきたのは良い思い出である。

私たちの代は1年上の代がいなかったので天下が2年続き、馴れ合いの様なものが同輩、先輩のあいだでもあったと回想します。そのため試合の成績はあまりかんばしいものではなかったと思います。

しかし同期の結束はかたく、卒業してからも何度となく呑んだり、ゴルフをしたりで集まりを持っています。最近疎遠になっているので、これを機会に復活したいと思います。60周年はそのいい機会をあたえてくれました。

昭和62年度卒業 中道裕美

農友会自動車部創立60周年おめでとうございます。この60年という長い年月のほんのわずかな間ですが、私も自動車部員として

歴史の一コマを築いてきたのかと思うと、感慨深いものがあります。

そもそも私がクラブに入部したきっかけは、入学式で知り合った同じ学科の女子の友人が、『自動車部に勧誘されたけど、一緒に行ってみない?』という一言でした。それまでは、自動車部なんて言う言葉すら知りませんでしたし、ましてどんな活動をしているかなんて検討もつきませんでした。ただ、入学式の前日に、仮免許の試験に不合格になっていたのも、運転の仕方も教えてくれるのかな、という程度の気持ちで説明を聞きに行ったのでした。しかしそこに待ち受けていたものは、オンボロ車の数々、オイルの匂いの充満したガレージ、そして、ゴミだらけの部室には怖い顔をした無愛想な男達。友人と一緒にでなかったら逃げ帰っていたことでしょう。

初めは半信半疑でしたが、他大学では女子部員が活躍していること、そして女子の新入部員がもう一名いたこともあって入部を決めました。初めのうちこそ居づらい雰囲気もありましたが、生まれて初めてダートトライアルを観戦し、フィギアの大会が終わ

った時点で、私は完全に自動車部の虜になっていたのです。

ところで、私は4年間のクラブ在籍期間中、後半の2年間は連盟の常任委員も兼任していました。幸いなことに、3年になってからもいくつかの試合に出させてもらいましたので、結果こそ自慢できるものではありませんが、試合の楽しさを経験することができました。連盟の仕事は仮にもおもしろいとは言えませんが、大会を支える大事な裏方であり、やりがいのある2年間でした。連盟の仕事を通じて社会人や他大学の学生と話をする機会を持ったことで、視野が広がり社会勉強にもなりました。

このように、ふとしたきっかけで入部した自動車部でしたが、卒業した今となっては大学時代の思い出の大半をしめています。現役部員の皆さん、つらいこともあることでしょう。しかし、クラブ活動を有意義に過ごせるかどうかは自分次第です。悔いを残すことなく卒業できるように、全力を尽くして頑張ってください。

芸は身を助ける?

昭和63年度卒業 皿井岩雄

平成元年に辛くも卒業して6年、最近はその程でもないが、2、3年前までは、自動車部という肩書きの下、オイルやタイヤの交換をテキパキするだけで随分と尊敬され重宝がられたものだった。昔のクセで愛車には常時、工具箱を搭載。「エンジンがかからない。」と涙目の女の子にはほとんどの場合ケーブルつないで一発始動。グキッとステキな殿方に見えたに違いない。

仕事の上でも大型免許を持っているだけで運転がうまいと思われ、社長の運転手や気楽な自動車での出張等、人の倍以上まわってきて美味しい思いをしたものだった。

ところが就農して3年、工具箱は温室や日曜大工、かあちゃん

の自転車修理に使われ、大型免許とは言えば組合や、身内の酔っぱらいを運搬するためのライセンスと化している。平成6年現在、俺の愛車は経費で落ちる4ナンバーのマークIIバン、8年落ちだが現行モデルである。がエンジンは「2Y」、オートマチック車で、タコメーターがないのがたまにキズだ。週末には女房や息子を乗せ、ヒマな左足をポリポリかきながらビデオ屋へアンパンマンを借りに行くための足と化している。

今、真っ赤なボルボワゴンにレイバンのサングラスで颯爽と市場に乗り付け、荷を出荷するのが俺の夢である。

私と自動車部

平成3年度卒業 大場秀之

◎自動車部に入っていて人に自慢できること

- 4t車でも4人いれば押しがけができるのを知っている
- 駐車禁止の標識が右上からの斜め線か左上からの斜め線か、どちらか知っている
- 埼玉の一部地域の地理にやけに詳しい

◎先輩から教えられたこと

- 車を扱うのは女を扱うのと同じだということ(最初は慣らし、暖気が肝心。当たりがついてきたら激しく回す。でもメンテナンスはお忘れなく。)
- 車ばかり磨かず、腕を磨け

◎学んだこと

- 4t車で後輩の手をひくととても痛そう

●セルの回らない4t車で路上でエンストするとみんなに迷惑がかかる

●ガレージジャッキを引っぱって駐車場を一周すると意外とつらい

●渋滞中の環八で寝てしまうと、さらに渋滞をまきおこしてしまう

●がんばれば優勝できる

◎得たもの

いい思い出、悪い思い出、ごつつあん、大型免許、人脈、いつまでもつきあえる先輩、後輩

◎失ったもの

赤いスターレット、金、髪、長い夏休み、来田のハムスター

平成4年度卒業 渡橋周子

大学に入るまで車に興味のなかった私が自動車部に入部したきっかけは、非常にくだらないことだったように思います。その当時の自動車部には女子部員が一人もおらず、それを知った私は不思議に思っ取りあえず部室へとでかけてみたのです。そして、そこの何となく馴染みやすい雰囲気と同じ学科のかっこいい先輩にひかれて、車の知識などほとんどないままに部員になっていたのです。

このように始まりはいい加減だったわけですが、やるからにはしっかりやろうと考えて活動していったつもりです。自動車部という部は不思議な部で、体育会系の部でありながら体力勝負ばかりではないし、男子部と女子部が別になっているわけでもない。女子にとっては、楽をしようと思えばとことん楽ができるし、頑張ろうと思えば実に頑張りがいのある、そんな所であったと思います。入部したばかりの頃は、車のメカのことをよく知っていて、車を名前で呼ばず86などと型式で呼ぶ男子の会話についていけず、悩んだものでした。でも負けず嫌いだった私は、女の子扱いされるのがくやしくて、何とか男子と同等に扱われたい、と考えて行動していました。今になってみれば、なんて生意気で可愛げのない奴だったんだろうと思いますが、そんな私を理解してくれて、やさしくはしても甘やかさないで接してくれた先輩達と同期の仲間達に、とても感謝しています。

大学生生活を振り返ってみるとほとんど自動車部ばかりの生活で

した。そして、卒業してからもOB会だ、60周年だ、新春ラリーだと部に関わっている自分を見て、私にとっての自動車部の存在の大きさを改めて感じています。

創立60周年おめでとうございます。

※まわりの環境に恵まれて、4年生の時に学生チャンピオンという成績を残すことが出来た私は非常に幸せでした。



平成2(1990)年6月 全関ダートラ 女子車「KP61 農大だいこん娘号」初めて作ってもらった試合車。乗った中で一番遅かったが、一番思い出のある車である。濃い草色のボディに屋根とボンネットの白い大根ステッカーが印象的だった。この後、競技はFFが主流となり、当部最後のFRの試合車となった。

常磐松自動車倶楽部会則

第一章 総則

(名称)

第一条 この会は、常磐松自動車倶楽部と称する。

(事務局)

第二条

本会は、主たる事務局を東京農業大学農友会自動車部内に置き、役員会の議決を経て、従たる事務局を必要な地に置くことができる。

(目的)

第三条

本会は、OB相互の連絡を密に行い、東京農業大学農友会自動車部(以下農大自動車部と称する。)の活動の援助を図り農大自動車部の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第四条

本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行なう。

- 一) 講演会、研修会、親睦会及び競技会の開催。
- 二) 刊行物の制作、発行。
- 三) 大学自動車部の認識を高めるための啓蒙及び宣伝。
- 四) 農大自動車部の各種活動の援助。
- 五) その他本会の目的を達成するために必要な事業。

第二章 会員

(種別)

第五条

本会の会員は、農大自動車部OB・OGとする。

(入会金及び会費)

第六条

会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(除名)

第七条

会員が次の各号の一に該当する場合には、総会において三分の二以上の議決に基づき除名することができる。この場合、その会員に対し議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- 一) 本会の会則又は規則に違反したとき。
- 二) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(提出金品の不返還)

第八条

既納の入会金、会費及びその他の提出金品は返還しない。

第三章 役員

(種類及び定数)

第九条

本会に、次の役員を置く。

役員

監事 二人

二

役員のうち、一人を会長、二人を副会長、他を常任役員とする。

(選任等)

第十条

役員及び監事は、総会において会員の中から選任する。

二

役員は互選により、会長、副会長、常任役員を選任する。

三

役員及び監事は、相互にこれを兼ねることができない。

(職務)

第十一条

会長は、本会を代表し、その業務を総理する。

二

副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたとき、会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

三

役員は、役員会を構成し、会則及び総会の議決に基づき、本会の業務を執行する。

四

監事は、次に掲げる業務を行なう。

- 一) 会計を監査すること。
- 二) 役員業務の執行状況を監査すること。

(任期)

第十二条

役員及び監事の任期は四年とする。但し、再任を妨げない。

二

役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行なわなければならない。

(解任)

第十三条

役員は、本会の役員としてふさわしくない行為をしたとき、その他特別な事由があるときは、総会の議決を経て解任することができる。

(地区幹事及び学年幹事)

第十四条

本会に地区幹事及び学年幹事を置くことができる。

二

地区幹事及び学年幹事は、総会の議決を経て、会長が委嘱する。

(役員推薦)

第十五条

本会は農大自動車部の要請に基づき、農大自動車部監督及びコーチを推薦することができる。

(顧問及び参与)

第十六条

本会に顧問及び参与を若干置くことができる。

二

顧問及び参与は、本会の議決を経て、会長が委嘱する。

三

顧問及び参与は、本会の重要事項について会長の諮問に応ずる。

(名誉会員)

第十七条

本会に、名誉会員を置くことができる。

二

名誉会員は、本会に著しく功勞のあった者とし、総会において推薦する。

三

名誉会員は、会長の諮問に応じ、又は会長に対して意見を述べることができる。

第四章 総会

- (種別)
 第十八条 総会は、役員をもって構成する。
- (機能)
 第十九条 総会は、この会則で定めることのほか、本会の運営に関する重要な事項を述べることができる。
- (開催)
 第二十条 総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
 一) 役員が必要と認め、招集の請求をしたとき。
 二) 役員のおよそ五分の一以上から会議の目的を記載した書面により、招集の請求があったとき。
- (招集)
 第二十一条 総会は会長が招集する。
 二 会長は、前条の規定により請求があったとき、総会を招集しなければならない。
- (議長)
 第二十二条 総会の議長は、その総会において、出席役員の中から選出する。
- (議決)
 第二十三条 総会の議事は、この会則に規定するもののほか、出席した会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第五章 役員会

- (構成)
 第二十四条 役員会は、役員をもって構成する。
- (機能)
 第二十五条 役員会は、この会則で別に定めるもののほか、次の事項を議決する。
 一) 総会に付議すべき事項。
 二) 総会の議決した事項の執行に関する事項。
 三) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項。

第六章 財産及び会計

- (財産の構成)
 第二十六条 本会の財産は、次に掲げるものをもって構成する。
 一) 入会金及び会費
 二) 寄付金品
 三) 財産から生じる収入
 四) 事業に伴う収入
 五) その他の収入
- (財産の管理)
 第二十七条 本会の財産は、会長が管理し、その方法は総会の議決を経て、会長が別に定める。
- (経費の支弁)
 第二十八条 本会の経費は、財産をもって支弁する。
- (事業計画及び予算)
 第二十九条 本会の事業計画及びこれに伴う予算に関する書類は、会長が作成し、総会において三分の二以上の議決を経なければならない。
- (事業報告及び決算)
 第三十条 本会の事業報告及び決算は、毎会計年度終了後、会長が事業報告書、収支計算書を作成し、幹事の監査を受け、総会において三分の二以上の議決を経なければならない。
- (会計年度)
 第三十一条 本会の会計年度は、毎年二月一日に始まり、翌年一月末日に終わる。

第七章 会則の変更及び解散

- (会則の変更)
 第三十二条 この会則は、総会において四分の三以上の議決を経なければ変更できない。
- (解散)
 第三十三条 本会は、総会において四分の三以上の議決を経て解散する。
- (残余財産の処分)
 第三十四条 本会の解散のときに有する残余財産は、総会において会員総数の四分の三以上の議決を経て、本会と類似の目的を有する団体に寄与するものとする。

第八章 補則

- (委任)
 第三十五条 この会則に定めるものの他、本会の運営に必要な事項は、総会の議決を経て、会長が別に定める。
- (委員長)
 第三十六条 本会は、必要に応じ委員会を置くことができる。
 二 委員は会長が委嘱する。

付則

- 一、本会は農大自動車部OB会の組織及び会則をこの会則の施行日まで継承する。
 二、この会則は、平成五年一月十五日から施行する。
 三、本会の当初の役員任期は、第十二条一項の規定にかかわらず、平成八年二月末日までとする。
 四、会費は年5,000円とする。

常盤松自動車倶楽部会員名簿

会長	片岡二郎	223	神奈川県横浜市港北区新吉田町1959-58 TEL.045-541-4857
副会長	福地進而	350-13	埼玉県狭山市青柳63 新狭山ハイツ30-403 TEL.0429-54-6078
	村田信雄	157	東京都世田谷区粕谷3-9-21 TEL.03-3307-8033
監事	清水憲嗣	158	東京都世田谷区上用賀5-16-19 TEL.03-3709-6196
	三箇滋	214	神奈川県川崎市多摩区中野島6-29-1-1203 TEL.044-946-0069
常任役員	黒沼幸雄	225	神奈川県横浜市緑区元石川町6589 TEL.045-901-3776
	小林士郎	173	東京都板橋区大山東町45-5 TEL.03-3579-1334
	高久喜昭	174	東京都板橋区常盤台3-26-7-204 サンライズ常盤台 TEL.03-3969-0215
	宇都木茂樹	182	東京都調布市西つつじヶ丘1-10-4 エンゼルハイム506 TEL.0424-81-0568
	小川良一	201	東京都狛江市緒方2-3-1 TEL.03-3488-9589
	立花隆人	335	埼玉県戸田市新曽330-1-405 TEL.0484-47-0362
	水野政純	273-01	千葉県鎌ヶ谷市西道野辺3-22-508 TEL.0474-46-4754
	湯野川瑞比古	154	東京都世田谷区豪徳寺2-2-13 TEL.03-3427-0025
	山内忠範	321	栃木県宇都宮市平出町4316-13 石田ハイツ205号 TEL.0286-60-4608
	小川光児	251	神奈川県藤沢市渡内380-97 TEL.0466-23-2750
	中里康明	370-22	群馬県甘楽郡甘楽町造石445 TEL.0274-74-2623
	神原雅人	158	東京都世田谷区成城4-11-4 TEL.03-3789-8862
	吉田康治	104	東京都中央区豊海町11-14 大都魚類豊海ビル3F 315 TEL.03-3532-5304
	渡橋周子	223	神奈川県横浜市港北区新吉田町1526 TEL.045-543-0935
部長	淡谷恭蔵	194-01	東京都町田市野津田町1003-3 TEL.0427-35-0276
顧問	近藤典生	158	東京都世田谷区上用賀2-4-28 TEL.03-3420-7449
	小林正	214	神奈川県川崎市多摩区生田2055-1 TEL.044-966-7173

氏名	住所	勤務先	電話(自宅)	学科
昭和9年度卒				
有働 一夫	164 東京都中野区中野5-61-10 (平成5年10月5日他界)		03-3387-1231	学
高橋 憲一	(他界)			専農
渡辺 寿雄	373 群馬県太田市別所479	太田市中央農協 組合長	0276-32-0666	専農
昭和10年度卒				
倉形 伍朗	166 東京都杉並区高円寺南1-10-16	日本農業機械工業会 常務理事	03-3312-8709	学
小早川隆士	860 熊本県熊本市坪井4-14-7 (他界)		0963-43-7768	学
下山伝三郎	(住所不明)			学
竹中 正三	(住所不明)			学
昭和11年度卒				
阿部 五郎	980 宮城県仙台市青葉区北山2-14-2 (他界)		0222-71-0071	専化
小野 泰蔵	044 北海道虻田郡倶知安町南四条東3丁目		0136-22-0033	学
河村 正己	754 山口県山口市深溝字唐樋2110-1		0839-89-3776	専農
田井 汪	578 大阪府東大阪市西岩田3-5-65-1413 (他界)		06-789-2585	専農
築山 徹	(他界)			専農
外山 達夫	488 愛知県尾張旭市晴丘池上96 (他界)		05613-3-3791	専農
大和喜八朗 (旧姓 中村)	981-02 宮城県宮城郡松島町高城字町88	テレビ・ニュース映画(自営)	022-354-2025	専化
昭和12年度卒				
谷中 俊夫	(他界)			学農
昭和13年度卒				
伊野部勝之	(他界)			学
昭和14年度卒				
岩村 宏典	(他界)			専農
太原 重生	254 神奈川県平塚市中原1-16-7		0463-33-6761	学
富田 詳三	(住所不明)			学
西宮 博	320 栃木県宇都宮市西2-3-9	㈱巴組鉄工所宇都宮支店 参与	0286-34-2801	学
野中 良輔	(住所不明)			学
野村 好直	781-02 高知県高知市長浜1147-1	(医)弘仁会 岡林病院 事務長	0888-42-3065	学
山根 博邦	(他界)			専農
昭和15年度卒				
岩浪淳一郎	(他界)			専農
長田 利造	652 兵庫県神戸市兵庫区会下山町1-2-15		078-521-5274	学農
藤本 一久	(他界)			学農
増田 千秋	514 三重県津市藤方421 (平成5年11月2日他界)			
昭和16年度卒				
石井 秀夫 (旧姓 玉手)	989-23 宮城県亶理町吉田字流146-501	亶理町吉田公民館 館長	02233-6-2532	専農
狩野 達	231 神奈川県横浜市中区山元町5-223-102		045-681-4316	専化

氏名
昭和
岩
小
鈴
西
昭和
内
竹
三
山
昭和
平
昭和
中
昭和
浦
昭和
野
昭和
稲
昭和
池
昭和
石
永
昭和
伊
菅
戸
昭和
小
寺
中
廣
前
山

学科	氏名	住所	勤務先	電話(自宅)	学科
	昭和17年度卒				
学農	岩田 晴雄	(住所不明)			学農
学農	小西 清	931 富山県富山市三上1	農業団体役員	0764-51-0826	専農
学農	鈴鹿 靖	(住所不明)			専農
	西原 真彦	561 大阪府豊中市稲津町1-4-17	大阪クッキングスクール 理事長	06-863-6500	専農
	昭和18年度卒				
学農	内海 清	153 東京都目黒区中目黒5-26-13		03-3710-0806	学農
学農	竹内 輝久	181 東京都三鷹市上連雀2-6-17	(株)輝企画 代表取締役社長	0422-47-2276	学農
学農	三上 良雄	298 千葉県夷隅郡大原町下布施1966	富士計測器製作所 代表取締役	04706-2-4247	学農
	山口 吉男 (旧姓 石川)	441-02 愛知県宝飯郡音羽町大字赤坂字関川115 (平成6年4月他界)			専拓
	昭和20年度卒				
学農	平岩堅太郎	173 東京都板橋区仲町46-13		03-3956-3629	学農
	昭和22年度卒				
学農	中村 漠	222 神奈川県横浜市港北区小机町2459	神奈川県庁農政部 技監	045-471-9147	学士
	昭和23年度卒				
学農	浦野 博之	662 兵庫県西宮市相生町6-40	日本情報センター	0798-33-5240	学士
	昭和24年度卒				
学農	野崎 勉	156 東京都世田谷区経堂1-8-2		03-3428-4523	専士
	昭和26年度卒				
学農	稲本龍太郎	602 京都府京都市上京区寺町通今出川上ル2-27	損保代理店 稲本商事(株) 代表取締役	075-231-3650	学経
	昭和27年度卒				
学農	池淵 純	216 神奈川県川崎市宮前区馬絹538 グリーンコーポ103号	(株)セーフティ 営業部	044-853-2029	農学
	昭和30年度卒				
学農	石見 良勝	671-22 兵庫県姫路市打越北向島358-57	青山開発 代表取締役会長	0792-66-1119	農学
学農	永井 巖	387-01 群馬県沼田市下笈知町703	(株)永井本家 代表取締役	0278-3-9118	化学
	昭和34年度卒				
学農	伊藤 光夫	061-13 北海道恵庭市下島松524	恵庭市役所経済部 次長	0123-36-3727	化学
学農	菅 直利	875-02 大分県大野郡野津町大字野津市329	菅藤娘 代表社員	0974-32-2218	化学
学農	戸井田能郎	273-01 千葉県鎌ヶ谷市西道野辺1-9-105	明治製菓(株) 健康産業事業部 課長	0474-45-1625	化学
	昭和35年度卒				
学農	小島 省三	201 東京都狛江市駒井町1-27-9	(株)中央計算センター 総務部	03-3489-9447	経済
学農	寺田 正寛	400 山梨県甲府市城東4-13-3	甲府市役所 都市開発部都市計画課	0552-33-4785	造園
学農	中村 光扶	167 東京都杉並区西荻北4-35-5	石葉 小使室	03-3396-0079	化学
学農	廣瀬 辰治	158 東京都世田谷区用賀3-15-16	(株)廣瀬商店 代表取締役社長	03-3700-3488	造園
	前村 望行	899-41 鹿児島県曾於郡財部町南俣1051-1	自営	0986-72-2333	農学
	山縣 高一	192 東京都八王子市中野山王3-6-2-106	(株)カイジョー 購買部購買課	0426-23-7629	工学

氏名	住所	勤務先	電話(自宅)	学科	氏名
雨宮 洋子 (旧姓 松浦)	196 東京都昭島市朝日町4-22-8	(株)東電ホームサービス 技術部	0425-45-1734	短栄	小山
山縣和嘉子 (旧姓 新井田)	(結婚) 昭和35年度卒山縣高一氏御夫人			短栄	高木
昭和36年度卒					
揖斐 昭子	316 茨城県日立市水木町2-17-25	日精齒科	0294-52-5957	栄養	田結
長 信一郎	073-11 北海道樺戸郡新十津川字大和28		0125-76-3831	農学	二宮
北原 卓	861-08 熊本県玉名郡南関町上坂下1447	県立玉名農業高校 教諭	09685-3-8019	農学	樋口
児玉 信行	880-01 宮崎県宮崎市大字島之内1055	宮崎県学校教育課 指導主事	0985-39-3188	農学	毛利
溝口 正信	963 福島県郡山市久留米3-139-8	北海フォードトラクター(株)	0249-45-8811	農学	昭和
宮澤 金五	289-11 千葉県印旛郡八街町八街ホ366	トモエ化学工業(株)	0472-94-4448	農学	安達
山寺 京子 (旧姓 下田)	108 東京都港区芝浦4-8-12-109		03-3453-8688	短栄	市川
昭和37年度卒					
新井 忠夫	399 長野県松本市笹賀3855-4	長野三菱ふそう自動車販売(株)	0263-58-9705	工学	黒田
稲尾 律司	362 埼玉県上尾市下899-5		048-772-6375	工学	斉藤
酒井 忠弘	(住所不明)			林学	坂上
田島 庸晴	364 埼玉県北本市高尾1103	北海フォードトラクター(株) 営業一部	0485-92-4319	工学	佐藤
永嶋 秀夫	950 新潟県新潟市米山6-13-1 サンカルム米山C-101	エム・エス・ケー東急機械(株)	025-247-3598	工学	淡輪
平松 宏之	190 東京都立川市砂川町7-2-23		0425-36-8480	農学	檀
深見 俊夫	350 埼玉県川越市旭町3-10-2		0492-43-0595	化学	羽住
森井 康雄	583 大阪府羽曳野市羽曳が丘5-6-5	(株)南都農園 役員	0729-56-3086	農学	原
安原 肇	240 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町675-54	日本通運 鶴見支店	045-382-0140	農学	前田
田中 芳子 (旧姓 藤谷)	330 埼玉県大宮市天沼2-982		0486-44-0490	短栄	森
橋本 洋子 (旧姓 川辺)	157 東京都世田谷区鎌田4-9-15		03-3416-8682	短栄	井口
藤崎 芳江 (旧姓 鈴木)	236 神奈川県横浜市金沢区西柴3-18-11		045-783-3236	短栄	岩瀬
古川 篤子	130 東京都墨田区石原町3-14-5	ふぐ割烹ふる川(自営)	03-3622-7213	短栄	川村
昭和38年度卒					
片岡 二郎	223 神奈川県横浜市港北区新吉田町1959-58	味の素(株) 食品総合研究所	045-541-4857	化学	後藤
西原 弘人	836 福岡県大牟田唐船419	福岡県農政部 農業技術課	0944-55-8485	畜産	柴田
原田 皓三	004 北海道札幌市豊平区北野七条3丁目23-13	佐藤工業(株) 札幌支店開発営業部	011-881-9112	工学	津田
深見 弘子 (旧姓 佐藤)	昭和38年卒深見俊夫氏御夫人			栄養	藤牧
昭和39年度卒					
阿部 正紘	113 東京都文京区西片町1-8-8			畜産	昭和
阿部 正幸	010 秋田県秋田市下北手松崎字碓31-10	秋田イセキ販売(株) 営業統括部 部長	0188-33-7454	経済	今津
大島 陽二	158 東京都世田谷区上野毛2-11-4	(株)レビドール	03-3701-1200	化学	久米
香取 秀郎	350-13 埼玉県狭山市青柳3 新狭山ハイツ25-505 (他界)	東京コココーラボトリング 製造部	0429-53-4468	化学	斎藤
斎藤 征夫	273-01 千葉県鎌ヶ谷東中沢3-9-37		0474-45-9321	化学	左奈
関屋 彰史	344-01 埼玉県北葛飾郡庄和町西金野井338-116	日本カナダパッカーズ(株) 営業部	048-746-6988	工学	鈴木
高橋 貞臣	025-03 岩手県花巻市狼沢3-50		0198-27-2731	経済	平田
波津久清久	248 神奈川県鎌倉市津西2-10-8	王子建材工業	0467-32-5248	林学	宮入
久武 昌念	156 東京都世田谷区経堂5-23-20	石綿コンクリート	03-3420-7576	経済	山梨
比留間秀雄	351 埼玉県朝霞市溝沼1-4-3	日本レグリー(株) 品質管理部 部長	048-461-4814	化学	渡瀬
星野 勇介	150 東京都渋谷区神山町12-2 星野ビル3F	(有)つるや商店 代表取締役	03-3466-4360	化学	鳴原
村山 斌夫	981-42 宮城県加美郡中新田町四日市場北元宿27	大須中学校 教頭	0229-63-6073	農学	芳野

氏名	住所	勤務先	電話(自宅)	学科
佐藤 紀義	981-21 宮城県伊具郡丸森町舘矢間舘山字東原146	県立伊具高等学校	0224-72-6485	農学
中山 義也	573 大阪府寝屋川市成田東が丘26-3	三浜ハウジング代表者	0720-34-9083	経済
深沢 邦治	419-03 静岡県富士郡芝川町大鹿窪255-2	ちとせ緑地(株)	0544-66-0606	造園
福地 進而	350-13 埼玉県狭山市青柳63 新狭山ハイツ30-403	(有)とさわ造園設計 専務取締役	0429-54-6078	造園
松本 佳雄 (旧姓 久保)	663 兵庫県西宮市壇上町1-6-12	兵庫県庁 神戸農林事務所	0798-51-0581	農学
丸 淳	299-25 千葉県安房郡丸山町西原172	県立君津農林高等学校 進路指導主事	0470-46-3245	農学
寄神 宗美	615 京都府京都市西京区御陵北山町26-6	むね陶房 (自営) 創作陶器	075-392-1053	造園
小林 展子	324 栃木県大田原市山の手1-8-15	(有)イカリヤ商店	02872-2-6211	短栄

昭和43年度卒

黒沼 幸男	225 神奈川県横浜市緑区元石川町6589	ちとせ緑地(株) 社長	045-901-3776	工学
後藤 公男	182 東京都調布市布田2-38-1 マールコート調布第2-207	日本トータルゼータ(株) 関連事業部	0424-84-8529	経済
坂本 和直	723-01 広島県三原市沼田東町両名984-5	JA広島果実連 ダンボール工場営業課	0848-66-3319	農学
清水 憲嗣	158 東京都世田谷区上用賀5-16-19	(株)ウエスタンコーポレーション 機械部	03-3709-6196	工学
高木 伸一	215 神奈川県川崎市麻生区片平5-5-8	町田市役所 土木課	044-988-0054	工学
能美 忠堯	014-03 秋田県仙北郡角館町小勝田字下村34	角館町役場 建設課 参事	0187-55-1640	林学
藤川 正博	761-04 香川県高松市三谷町1949	高松市中央農業協同組合 営農部	0878-89-0924	経済
向井 義昶	626-04 京都府与謝郡伊根町字平田67	向井酒造(株) 代表取締役 (自営)	0772-32-0003	醸造
長尾 光博	761-14 香川県香川郡香南町大字池内597-2	(有)エルク・ボーテ (自営)	0878-79-3545	短農
袴田 光夫	742-27 山口県大島郡大島町大字日見77	小松物産(株)	08207-6-0407	短農

昭和44年度卒

青木真理子 (旧姓 稲垣)	444-02 愛知県岡崎市宮地町字馬場9-3		0564-53-6369	栄養
有村 健男	740 山口県岩国市南岩国町4-55-7	新陽(株) 住宅事業部	0827-31-3465	経済 拓殖
伊藤 建夫	(海外)			
今井いく子 (旧姓 佐藤)	377 群馬県勢多郡北橋村下箱田399		0279-52-3129	栄養 造園 農学
越前 栄子	(海外)			
大高 正俊	(住所不明)			
沖塩 昌太	670 兵庫県姫路市下手野2-11-2	姫路市役所 青山の森整備事務所	0792-93-1832	造園
小澤 伸司	424 静岡県清水市草薙365-51	(株)清水電業社	0543-45-4954	林学
三箇 滋	214 神奈川県川崎市多摩区中野島6-29-1-1203	京王グリーンサービス(株) 造園土木部	044-946-0069	造園 拓殖
徳江 清東	(住所不明)			
富沢 貴	182 東京都調布市深大寺東町4-30-16	(株)富沢造園 代表取締役社長	0424-83-4912	造園
中西 久彦	649-01 和歌山県海草郡下津町上1124	農業 (自営)	0734-92-0102	経済
原田 行人	673-04 兵庫県三木市加佐995-32	グリーンエースカントリークラブ	07948-3-4487	造園
本間 和弥	959-21 新潟県北蒲原郡水原町安野町3-2	新津保健所 衛生課 副参事	0250-62-3468	化学
村田 信雄 (旧姓 佐々木)	157 東京都世田谷区粕谷3-9-21	村田永楽園(株) 専務取締役	03-3307-8033	造園
山本 耕平	417 静岡県富士市門間64-2	(有)やまと園芸 (自営)	0545-38-1958	農学
吉本 重徳	889-44 宮崎県西諸県郡高原町西大谷		0984-42-4085	畜産
渡辺 哲夫	870-11 大分県大分市ふじが丘山手区313-4	大分県経済連 園芸特産部園芸課	0975-68-1327	工学

昭和45年度卒

甲斐 清	272 千葉県市川市真間5-16-17	第一産商(株)	0473-73-8392	林学
楠 律夫	734-03 広島県豊田郡豊町沖友451	農業 (自営) 果樹	08466-6-2108	化学
小林 士郎	173 東京都板橋区大山東町45-5	共立薬品(株) 代表取締役	03-3579-1334	化学
染矢 元秀	879-24 大分県津久見市立花町7-22	農業 (自営) 柑橘栽培	0972-82-3681	農学

氏名	住所	勤務先	電話(自宅)	学科
谷口 俊博	834-02 福岡県八女郡星野村18751-1	林業 (自営)	0943-52-2521	林学
垂水 洋子	191 東京都日野市久保3-17-9		0425-91-3689	造園
富田 育臣	421-05 静岡県榛原郡相良町菅ヶ谷2764	榛原郡本川根町本川根中学校 教諭	0537-87-2337	林学
中西 利子 (旧姓 鳥海)	(結婚) 昭和44年度卒中西久彦氏御夫人			栄養
早川 富雄	(住所不明)			化学
松本 良一	155 東京都世田谷区代田1-35-13	㈱住田光学ガラス 経理部兼総務部	03-3411-4366	工学
南 正外 (旧姓 柴田)	932 富山県小矢部市道林寺200	富山市役所 都市開発部公園緑地課	0766-67-1325	造園
岩谷 健作	018-24 秋田県山本郡八竜町芦崎453	農業 (自営)	0185-85-3866	短農

昭和46年度卒

角田 隆紀	371 群馬県吾妻郡東村五町田767-2	群馬県庁 農政部蚕糸課	0279-59-3346	経済
下田 耕司	216 神奈川県川崎市宮前区宮崎3-11-16-204	塩野義製薬(株) 第7学術部	044-855-3791	化学
須賀 透	121 東京都足立区西保木間2-18-19	(株)栄花園 (自営)	03-3850-8191	農学
高久 喜昭	174 東京都板橋区常盤台3-26-7-204 サンライズ常盤台	大洋日産自動車販売(株) 三田工場	03-3969-0215	工学
高田 長久	799-37 愛媛県北宇和郡吉田町大字立間1-3686	農業 (自営)	08955-2-1268	経済
竹井 英明	248 神奈川県鎌倉市長谷3-4-22	㈱野田修護商店 営業第2グループ	0467-24-4612	林学
西森 英治	916-02 福井県丹生郡宮崎村字須尾15-7	自営業	0778-32-3001	農学
番場 裕介	251 神奈川県藤沢市鶴沼海岸5-8-23 鶴沼パークハウス201	㈱ジェイコス 土木部 技術長	0466-34-7107	工学
藤本 雅子 (旧姓 柴山)	665 兵庫県宝塚市仁川北3-10-26		0798-54-5096	造園
向井 泰治 (旧姓 前内)	732 広島県広島市南区比治山本町16-6	㈱広島県農業開発公社 主幹	082-253-7955	畜産
望月 敏男	421-31 静岡県庵原郡由比町西山寺585	農業 (自営)	0543-75-2996	経済

昭和47年度卒

大島 孝史	152 東京都目黒区東が丘2-7-8	(株)アンフィニ関東 マツダ大田	03-3412-9335	林学
小沢 博	400-15 山梨県東八代郡中道町上曾根2389	小沢農場 (自営)	0552-66-2248	農学
梶浦 唯乗	279 千葉県浦安市舞浜3-4-20	(株)アールピバン 専務取締役	0473-53-2951	農学
叶野 力	356 埼玉県上福岡市上福岡2-5-3	東京中央ヤクルト販売(株) 営業部	0492-62-2734	化学
上平 一郎	639-38 奈良県吉野郡下北山村浦向5	下北山村役場 助役	07468-6-0300	林学
武田 邦典	869-24 熊本県阿蘇郡南小国町中原5210	林業 (自営)	0967-42-1060	林学
林 勝男	378-01 群馬県利根郡白沢村大字高平42-12	沼田スプリングスカントリー倶楽部	0278-53-2523	造園
吉野 孝道	270 千葉県松戸市千駄堀220	松戸市役所援護課 課長補佐	0473-41-4549	農学
金井かずよ (旧姓 柳沢)	386-04 長野県小県郡丸子町長瀬1328		0268-42-4580	短栄
小泉ひろよ	114 東京都北区栄町11-13		03-3927-4678	短栄
斉藤 洋子	400-05 山梨県南巨摩郡増穂町長沢158-3	斉藤洋子のホームメイドクッキングサロン	0556-22-4055	短栄
波多野恵子	158 東京都世田谷区尾山台3-24-10		03-3702-5522	短栄
福島たつ子 (旧姓 上原)	380 長野県長野市上松2-28-22		0262-35-2416	短栄
柳沢雅佳子 (旧姓 吉岡)	330 埼玉県大宮市御蔵1325-5			短栄

昭和48年度卒

秋山 通	420 静岡県静岡市柳原9-23	特別養護老人ホーム麻機園	054-245-2255	工学
石田 真	195 東京都町田市市山崎町1223 シーアイハイツB-1403	(株)スズケン病院課 課長	0427-91-5271	栄養
石渡 康郎	285 千葉県佐倉市高崎492	千葉県農業開発公社	0434-84-2896	農学
犬童卓一郎	868-04 熊本県球磨郡上村大字上2893	奥球磨林業ログ・キャビン (自営) 社長	0966-47-0001	林学
河津 克司	869-24 熊本県阿蘇郡南小国町中原4743	林業 (自営)	09674-2-0767	林学
北山 友美	323 栃木県小山市犬塚816-1	小山市役所 都市開発部	0285-25-8155	工学
木村 泰博	741 山口県岩国市平田6-39-3	岩国市役所 建設部道路港湾課	0827-31-4711	工学

氏名	住所	勤務先	電話(自宅)	学科
長島 均	157 東京都世田谷区大蔵6-15-13	㈱ノブ(セサミハウス) 代表取締役	03-3416-4465	工学
番場 隆	161 東京都新宿区上落合1-7-14	本多通信工業㈱営業本部 副部長	03-3368-0529	
星野 知司	612 京都府京都市伏見区桃山福島太夫西町27-2	丸喜㈱ 販売一部	075-622-8864	工学
間瀬 英生	175 東京都板橋区三園1-16-9	東京中央ヤクルト販売㈱ 営業部	03-3938-5645	農学
満山 喜一	969-03 福島県白河市高山西12-7	(有)日仙産業 代表取締役	0248-22-1614	工学
山下 博行	283 千葉県東金市田間285-9	八日市場土地改良事務所 副主査	0475-55-0204	工学
吉井 徹	370 群馬県高崎市上中居町249	古久松木材	0273-52-8721	林学

昭和49年度卒

上野 晃一	341 埼玉県三郷市早稲田7-17-2	西野商事㈱ 冷凍食材部 部長	0489-58-4882	拓殖
小澤 正和	371 群馬県前橋市日吉町2-6-12	群馬県庁治山課 検査係 主幹	0272-32-2489	林学
幸元 敏	763 香川県丸亀市川西町1797	香川県信用農業協同組合	08772-2-7433	経済
桜井 清一	329-11 栃木県河内郡河内町大字下ヶ橋817	自営	0286-73-4489	工学
城後 博幸	860 熊本県熊本市練兵町28 (A-707)	熊本農園 (自営) 専務	096-324-3276	農学
田中 芳文	383 長野県中野市片塩332	田中技研工業	0269-22-6473	農学
津雲 保	206 東京都多摩市貝取5-2-2-401	スターダスト (自営) ファッション雑貨	0423-72-7677	工学
永井 充治	861-41 熊本県熊本市内田町1769	八代農業高等学校 教諭	096-223-3387	工学
平野 均	416 静岡県富士市松岡695-4 コーポアナナス201号	静岡県森林組合連合会 共販係長	0545-64-6392	林学
宮崎興志郎	286-02 千葉県印旛郡富里町日吉台1-12-8	㈱富沢造園 資材部 係長	0476-92-5223	農学
諸井 道雄	975 福島県原町市本陣前3-423	諸井緑樹園 (自営)	0244-24-2556	造園
渡辺 正樹	761 香川県高松市多肥上町525-6	香川県経済農業協同組合	0878-88-3224	工学
丸山 泰史	438-01 静岡県磐田郡豊岡村上野部1989-1	豊岡梅園 (自営)	0539-62-2666	短農

昭和50年度卒

岡田 正人	668-03 兵庫県出石郡但東町坂野199	日産プリンス兵庫販売㈱ 今宿営業所	0796-56-0613	経済
尾倉 英行	010-04 秋田県南秋田郡大瀧村東2-5-40	農業 (自営)	0185-45-2453	経済
川井 裕二	604 京都府京都市中京区壬生森前町10 コスモフォーラム四条305	マハリン総合研究所京都センター	075-812-6176	畜産
原田 泰	377-08 群馬県吾妻郡吾妻町大字川戸666-13	自営業	0279-68-4999	工学
村上 佳巳	427-01 静岡県島田市湯日815-1	農業 (自営)	05473-8-2740	農学
山本 嘉亮	639-22 奈良県御所市本町1160	油長酒造 (自営)	07456-3-2047	醸造
吉田 耕三	855 長崎県島原市高島町382	自営	09576-2-4107	醸造
一の瀬とよ子 (旧姓 渋谷)	350-13 埼玉県狭山市堀兼2360-14			短栄
檜山 晴子 (旧姓 白鳥)	427 静岡県島田市落合77	静岡リハビリテーション病院 栄養給食課	0547-36-3140	短栄
黒野 恵子 (旧姓 下島)	(結婚)昭和51年度卒黒野幹彦氏御夫人			短栄
諸井美恵子 (旧姓 斎藤)	(結婚)昭和49年度卒諸井道雄氏御夫人			短栄

昭和51年度卒

安部 高之	270 千葉県松戸市五香六実734-170		0473-87-1649	拓殖
井出 新次	252 神奈川県藤沢市宮原2417	湘南エンジニアリング㈱	0466-48-5987	畜産
黒野 幹彦	669-64 兵庫県城崎郡香住町単人228	農業 (自営)	07963-8-0612	拓殖
下林 哲也	151 東京都渋谷区本町1-25-8	(有)村田商事	03-3376-0035	拓殖
谷 眞史	779-31 徳島県徳島市国府町日開170-12	東海運㈱ 小松島出張所 船舶部	0886-42-4217	造園
都丸 正隆	371 群馬県前橋市青柳町432-1 白井マンション305	㈱小松製作所 群馬支店 沼田(有)	0272-31-6731	化学
永江 幸子 (旧姓 角田)	216 神奈川県川崎市宮前区宮前平3-5-25		044-854-2344	栄養
深沢 初正	410-03 静岡県沼津市井出810-3	㈱リンテック	0559-66-2119	林学
稲毛 裕史 (旧姓 斎藤)	133 東京都江戸川区鹿骨1-20-6	稲亀緑花㈱ (自営) 社長	03-5243-5226	短農

氏名	住所	勤務先	電話(自宅)	学科	
昭和52年度卒					
石川 実明	471 愛知県豊田市深田町2-45-3	(株)内藤銘建	0565-27-0134	造園	
笹沢 達雄	371 群馬県前橋市広瀬町2-32-1-303	JA群馬経済連 北部支所畜産推進課	0272-61-6344	畜産	
上土井正薫	861-54 熊本県玉名郡天水町小天2879		09688-2-2062	農学	
中谷 章	615 京都府京都市右京区梅津東構口町62	京都市農業協同組合 資金係	075-861-2243	工学	
門伝 恵	987-22 宮城県栗原郡築館町字萩沢土橋32-51	雇用促進住宅築館宿舍1-308	さき錦酒造協同組合 営業部	02285-2-2563	醸造
吉野 徹	259-11 神奈川県伊勢原市小稲葉3343	(株)南関東クボタ 営業部営業一課	0463-94-0833	農学	
石田久美子 (旧姓 林)	352 埼玉県新座市片山3-4-21		0484-78-6403	短栄	
神生 恭利	315-10 茨城県新治郡八郷町吉生3181-1	神生農用菌類研究所所長 (ICC代表)	0299-43-6391	短農	
福田 弘子 (旧姓 安藤)	(結婚)昭和54年度卒福田一成氏御夫人			短栄	
藤井美佐江	142 東京都品川区旗ノ台3-4-6		03-3785-1675	短栄	
船窪 則夫	437-06 静岡県周智郡春野町石打松下321	農林業 (自営)	0539-86-0008	短農	
昭和53年度卒					
石田 安弘	225 神奈川県横浜市緑区美しが丘2-6-24 たまハイム302	(株)錦之堂 営業課 課長	045-903-8671	工学	
白倉 良尚	330 埼玉県大宮市東新井268-1	白倉植物園 (自営)	048-684-5176	造園	
宇都木茂樹	182 東京都調布市西つつじヶ丘1-10-4 エンゼルハイム506	(株)富沢造園 営業部 係長	0424-81-0568	造園	
小川 良一	201 東京都狛江市緒方2-3-1	マインズ農業協同組合本部本店 金融部	03-3488-9589	栄養	
川村 信世	345 埼玉県南埼玉郡宮代町百間3-4-12	東武テリバー(株) 営業第2本部SR事業部	0480-33-2574	拓殖	
松岡 正行	271 千葉県松戸市稔台17 (他界)		0473-62-3475	畜産	
松下真由美 (旧姓 斑目)	222 神奈川県横浜市港北区多尾町2063		045-531-8508	栄養	
岩波 敏之	294 千葉県館山市宮城無番地海上自衛隊21MSQ航整隊	海上自衛隊21MSQ航整隊		短農	
昭和54年度卒					
大塚 利雄	267 千葉県千葉市緑区下大和田町9	自営	043-294-0675	畜産	
篠崎 誠	371 群馬県前橋市上佐鳥町694	前橋市教育委員会 保険体育課	0272-65-1057	拓殖	
鈴木 克幸	426 静岡県藤枝市音羽町5-14-4	(株)田子重 登呂田店 副店長	054-641-4405	工学	
鈴木 良幸	371 群馬県前橋市表町1-7-6	学校法人 鈴木学園 理事長	0272-21-3235	工学	
玉村 陽子 (旧姓 井上)	215 神奈川県川崎市麻生区王禅寺1438-14		044-955-8946	栄養	
福田 一成	321-14 栃木県日光市和泉853	サンワ林業 (自営)	0288-53-5101	林学	
田辺 敏	950-33 新潟県豊栄市川西3-12-7		025-386-2339	短農	
寺尾 進	422 静岡県静岡市聖一色434-1		0542-63-8562	短農	
三留 達也	010-04 秋田県南秋田郡大潟村字西2-3-10	農業 (自営)	0185-45-2343	短農	
昭和55年度卒					
雨池 信行	004 北海道札幌市豊平区真栄3条2-18-5 北海道信連公宅303号	北海道信連 札幌支所 融資課	011-886-1450	経済	
岩辻 一晃	586 大阪府河内長野市南花台3-4-40-302	(株)日本フォレスト 取締役	0721-63-0918	造園	
柏原 茂	395 長野県飯田市上郷飯沼3421-6	食堂ゆしま (自営)	0265-23-1718	農学	
木暮 美継	370-01 群馬県佐波郡玉村町箱石326	自営	0270-65-3596	畜産	
鈴木 公平	435 静岡県浜松市安松町87-15 ラ・フォーレ富永201号	天龍造園建設(株) 営業部営業課	053-465-8643	造園	
須関 秀典	377-13 群馬県吾妻郡長野原町長野原1497-2			経済	
関口 保	(住所不明)			経済	
立花 隆人	335 埼玉県戸田市新曾330-1-405	立花防水	0484-47-0362	林学	
都 信親	870-02 大分県大分市大字迫374-122 つるさき陽光台6-11	(有)都造園土木 常務取締役	0975-23-2442	造園	
森 郭安	182 東京都調布市若葉町2-41-206	(株)色彩工学	03-3309-3639	栄養	
猪狩由美子	154 東京都世田谷区若林4-13-11		03-3414-3263	短栄	

氏名	住所	勤務先	電話(自宅)	学科
小林 晶子	154 東京都世田谷区梅丘1-27-3 #202	(株)ディスコ 媒体編集部	03-5477-0860	短栄
寺島登世美 (旧姓 福島)	173 東京都板橋区大谷口2-39-12		03-3955-6915	短栄
中嶋 将勝	013-05 秋田県平鹿郡大森町板井田字中小中島41	立川工業(株) 品質管理課 主任	0182-26-3192	短農
昭和56年度卒				
黒田 亮一	368-01 埼玉県秩父郡小鹿野町大字下小鹿野1690-5	荒川観光開発(株)	0494-75-0658	畜産
小板橋正晴	379-01 群馬県安中市梁瀬477		0273-85-9329	農学
永井 寛之	378 群馬県沼田市下発知町703	(株)岡永 城西支店	0278-23-9118	醸造
昭和57年度卒				
我妻 康雄	300 茨城県土浦市中神立町19-7	利根ココロラボトリング 製造部	0298-32-3647	醸造
伊藤 裕彦	104 東京都中央区築地6-8-9	(株)イトシン 営業部	03-3542-3119	畜産
稲垣 昌弘	176 東京都練馬区豊玉中2-17	丸昌稲垣株式会社 東京営業所	03-3992-3378	林学
片上 裕之	639-22 奈良県御所市森脇329	片上醤油 (自営)	07456-6-0033	醸造
田村 文男	373 群馬県太田市成塚150-86成塚団地6-14	太田市教育委員会 社会教育課	0276-37-4073	経済
平山ひかる (旧姓 山本)	169 東京都新宿区大久保2-24-10-202	(株)京樟 品質管理本部	03-3208-7256	栄養
廣川 哲也	955 新潟県三条市大字金子新田乙705	安達建設興業(株) 三条支店 営業課	0256-34-2378	工学
水野 政純	270-14 千葉県印旛郡白井町桜台2-4-7-202	大成ロテック(株) 鬼首作業所	0474-92-5857	工学
宮坂 裕之	394 長野県岡谷市長池16-9	(株)豊島屋 清酒部製造課 主任	0266-28-5619	醸造
村谷 健一	359 埼玉県所沢市東所沢1-14-1 コート東所沢202	(株)東京めいらく 管理部	0429-44-3170	醸造
梅木かすみ (旧姓 根本)	195 東京都町田市鶴川2-15-10-102	勸太田総合病院 鶴川桔梗保育園	0427-36-5126	短栄
佐藤 浩之	981-33 宮城県黒川郡富谷町ひより台1-27-2 グランドハイツひより台203	(株)仙台建具センター 営業1課 主任	022-358-9563	短農
昭和58年度卒				
岩松 克彦	300 茨城県土浦市手野町367		0298-28-1437	短農
大滝 和弘	321-43 栃木県真岡市熊倉町3414	農業 (自営)	0285-82-2760	短農
昭和59年度卒				
石垣 稔	950 新潟県新潟市牡丹山1-16-10 (フィリピン在中)		025-274-6472	栄養
襟川 仁志	370-07 群馬県邑楽郡千代田町木崎346	襟川コンクリート工業 工場長	0276-86-3135	工学
大川 和利	285 千葉県佐倉市大佐倉1376		043-484-0039	拓殖
大野 喜裕	350 埼玉県川越市小仙波町4-14-4 カーサビアンカB-201		0492-26-7704	造園
大甕 和久	975 福島県原町市深野字原田1	(有)大甕造園 (自営) 取締役	0244-22-6266	造園
金井 和宏	252 神奈川県藤沢市湘南台1-41-23 サニーハイム102	本郷台駅前郵便局	0466-43-3723	経済
木暮 重仁	370-11 群馬県佐波郡玉村町箱石237-3	自営	0270-65-8519	畜産
中野 利明	769-24 香川県大川郡津田町津田376	(有)中野造園 (自営) 専務取締役	0879-42-2821	造園
仲村 清輝	400 山梨県甲府市荒川2-12-5-101		0552-53-8575	造園
中村 雅量	404 山梨県塩山市牛奥2524-1	奥野田葡萄酒醸造(株) 代表取締役	0553-33-9988	醸造
昭和60年度卒				
牛見 和彦	747-05 山口県佐波郡徳地町大字山畑259		08355-4-0314	林学
敷井 正人	192 東京都八王子市明神町2-2-8		0426-46-6455	工学
清水 徳男	173 東京都板橋区板橋1-47-11-901		03-3962-5877	工学
昭和61年度卒				
石丸 寿	336 埼玉県浦和市文蔵3-35-21 今泉コーポ21102号室	東京中央青果(株) 野菜第3部	048-839-6285	林学

氏名	住所	勤務先	電話(自宅)	学科
金沢 仁史	259-02 神奈川県足柄下郡真鶴200-2	箱根カントリークラブ	0465-68-1744	造園
長尾 佳昭	779-31 徳島県徳島市国府町井戸字北屋敷47		0886-42-2252	経済
花岡 洋文	379-03 群馬県碓氷郡松井田町大字横川368	登記・測量 富岡事務所	0273-95-2527	工学
林 亨	319-02 茨城県西茨城郡岩間町押市辺2720-1	株式会社 志熊商店	0299-45-3926	栄養
原田 宜典	442 愛知県豊川市諏訪4-34		05338-5-1456	農学
溝口 勝博	370-33 群馬県群馬郡榛名町下室田292-2	(株)前橋東急イン調理 (和食)	0273-74-0103	化学
村越 浩司	250 神奈川県小田原市新屋22	(株)村越農園 専務取締役	0465-36-0615	造園
森口 徹	247 神奈川県鎌倉市今泉台6-14-8	MMC三本コーヒー(株) 横浜支店	0467-44-9815	拓殖
湯野川瑞比古	154 東京都世田谷区豪徳寺2-2-13	トヨタ東京カラー(株)車輻部 主任	03-3427-0025	経済
米澤 秀幸	894 鹿児島県名瀬市真名津町13-14 第三エースマンション408		0997-54-0465	経済
五十嵐慶子	215 神奈川県川崎市麻生区岡上1462-40	(株)伊勢丹プチモンド 伊勢丹新宿店	044-986-9072	短栄
石橋 敬子	182 東京都調布市国領町3-17-1-624	調布市立八雲台小学校	0424-83-0895	短栄

昭和62年度卒

池田 秀樹	910 福井県福井市木田1-1903		0776-34-7638	林学
一戸 武二	037 青森県五所川原市大字広田字下り松65	五所川原市役所 経済部農林課 技師	0173-35-2964	農学
片岡 健一	700 岡山県岡山市下伊福2-9-29 ルピナス下伊福203号室		0862-55-4480	工学
川村 佳郎	869-12 熊本県菊池郡大津町室383-3 すみれハイツ112号室	本田技研工業(株)熊本製作所 PW1-1	096-293-0805	工学
久保 将人	769-16 香川県三豊郡豊浜町大字和田甲228-5	株式会社イヅツみそ	0875-52-5367	醸造
俊成 典和	795 愛媛県大州市中村287-1	愛媛県八幡浜地方局 産業経済部農政課		経済
中道 裕美	195 東京都町田市金井1-19-29		0427-34-6972	造園
二階堂 伸	444 愛知県岡崎市柱町北屋敷10-1		0564-55-5135	農学
山内 忠範	321 栃木県宇都宮市平出町4316-13 石田ハイツ205号		0286-60-4608	拓殖
尾崎 精一	441-31 愛知県豊橋市細谷町字坂東堀102-1	自営	0532-21-1671	短農

昭和63年度卒

小川 光児	242 神奈川県大和市上和田1850-15-102	NOK(株) 神奈川(支) 技術1課	0462-68-9161	工学
小松崎正行	300 茨城県土浦市川口2-3-19 スカイコーポ202	(株)共生企画 教務主任	0298-24-2976	経済
皿井 岩雄	479 愛知県常滑市広目字前田5	皿井農園 (自営)	0569-37-0208	農学
瀬野 英樹	241 神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰1-48-3 公舎1-107		045-381-6785	畜産
山下 俊之	286-02 千葉県印旛郡富里町十倉617		0476-94-0400	工学
小山 るい	201 東京都狛江市東野川1-32-12 ヴィラタカノ207号		03-3489-7129	短栄
永田 倫子 (旧姓 柴田)	(結婚)平成2年度卒永田雅彦氏御夫人	サントリー食品工業(株) 品質課		短栄

平成元年度卒

柴田 知城	819-13 福岡県糸島郡志摩町大字芥屋66番地	柴田農園 (自営) シンピウム鉢物生産	092-328-2509	農学
中里 泰明	370-22 群馬県甘楽郡甘楽町小川603	(有)中里春風	0274-74-6397	工学
平山 康	319-26 茨城県那珂郡美和村高部1000		02955-8-2950	林学

平成2年度卒

葛西 俊蔵	037-03 青森県北津軽郡中里町大字中里字宝森157	鹿内組 工務課	0173-57-2027	工学
神原 雅人	157 東京都世田谷区成城4-11-4	CORNES & CO. LTD	03-3789-8862	林学
中津川英彦	430 静岡県浜松市大柳町476	浜松市役所 南道路維持事務所 維持係	053-425-9324	工学
永田 雅彦	336 埼玉県浦和市神田429 グランハイムマルイD-102号	三菱農機(株) プラント部	048-853-2833	工学
根岸 一正	154 東京都世田谷区野沢1-3-5	根岸造園 (自営)	03-3421-5206	工学
松井 真一	146 東京都大田区矢口1-11-2 メゾンニッタ303号	三共(株) 特品部動薬課	03-5482-4690	畜産

氏名	住所	勤務先	電話(自宅)	学科
浮貝 卓史	158 東京都世田谷区奥沢3-14-2	永井電子機器(株) 営業	03-3720-2051	短農
大塚 隆一	299-32 千葉県山武郡大網白里町南今泉814		0475-77-3018	短農
平成3年度卒				
大場 秀之	441-35 愛知県渥美郡赤羽根町大字若見字帯刀沢2	愛知県経済農業協同組合園芸事業部	0531-45-2248	農学
来田 聖也	982 宮城県仙台市若林区南染師町20 エステマール606	NOK(株) 仙台営業所 営業課	022-224-8874	工学
平成4年度卒				
大島 憲一	362 埼玉県上尾市錦8-7 メゾン錦101	スズキ自販埼玉	048-775-7560	拓殖
大津 貴弘	310 茨城県水戸市柳河町1426-10		0292-21-0190	拓殖
杉原 松文	916-11 福井県鯖江市別所町30-42		0778-51-3952	工学
高橋康二郎	156 東京都世田谷区桜丘3-20-8 ゆきわ荘5号室		03-3706-3749	醸造
古澤 伸哉	362 埼玉県上尾市上739-7	トヨタカローラ埼玉	048-773-0601	林学
古谷 祥司	373 群馬県太田市大字由良1622-9 アリス太田第一103号室	矢島工業株式会社 開発課	0276-32-3768	工学
湯川 智元	617 京都府長岡京市金ヶ原寿先10	京都日産プリンス	075-951-5769	農学
吉田 康治	104 東京都中央区豊海町11-14 大都魚類豊海ビル3F 301	大都魚類(株) 海老部海老課	03-3532-5304	農学
渡橋 周子	223 神奈川県横浜市港北区新吉田町1526	(有)村田商事 業務	045-543-0935	畜産
平成5年度卒				
木内 聡子	202 東京都保谷市ひばりヶ丘2-13-12		0424-21-7365	栄養
十萬 雄輔	781-02 高知県高知市横浜223	高知銀行 竹島支店	0888-41-3033	拓殖
神藤 充宏	441-32 愛知県豊橋市城下町細田206		0532-23-0898	工学
関根 浩司	467 愛知県名古屋市長瑞穂区惣作町2-16		052-851-8772	林学
中山 靖之	161 東京都新宿区下落合4-23-16 ライプワン目白503		03-3950-8502	畜産
長峰 輝男	156 東京都世田谷区船橋3-13-3 飯田ヒルズ202		03-3789-3526	拓殖
岩崎 哲史	206 東京都多摩市馬引沢2-7-13 第三サンハイツ永山302	東海大学 在学中	0423-38-2370	短生

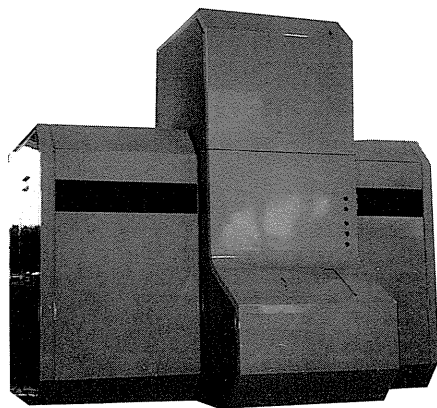
創立60周年おめでとうございます。 益々のご繁栄をお祈りします。

* 葎用生産機械事業部

- 葎栽培の省力化機械のことなら何でもおまかせ下さい。

* 環境機器事業部

- 地球環境を考える事業部として、有効微生物による生ゴミ処理機を製作しています。
- 産業廃棄物減容機設計製作



バイオリクター-Rex05

廃棄物処理展示 東京・大阪
好評を得ております。

田中技研工業株式会社

代表取締役 田中 芳文

長野県中野市片塩 345

TEL 0269-22-3415

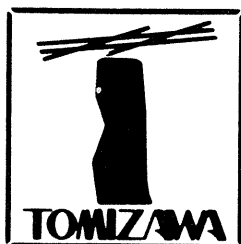
FAX 0269-22-7845

祝 東京農業大学農友会自動車部

創部60周年

人を育て

緑を育て



株式会社 富沢造園

本社 〒182 東京都調布市深大寺東町4-30-16

☎ 0424-83-4315 FAX 0424-83-4319

千葉営業所 〒286-02 千葉県印旛郡富里町十倉189-10

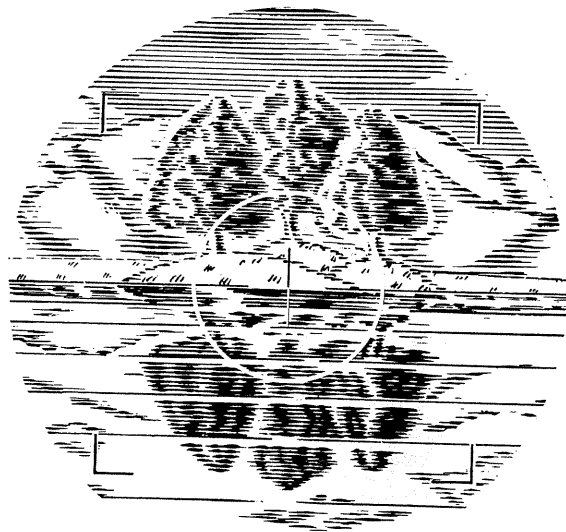
☎ 0476-94-0076

埼玉営業所 〒350-13 埼玉県狭山市入間川2-2183-2

☎ 0429-54-7980

地球においしい深呼吸

「いつまでもあなたの身近で……」



特販業務部

山野井健詞 (昭和52年度 農業経済学科卒)

人事第一部

吉田 孝行 (昭和58年度 農業経済学科卒)

車両部

湯野川瑞比古 (昭和61年度 農業経済学科卒)

祝

西調布営業所

猪目 直子 (平成3年度 農業経済学科卒)

若林営業所

野田 克之 (平成4年度 農業工学科卒)

高井戸営業所

岡村 聖 (平成5年度 農業経済学科卒)

トヨタ東京カーゴ株式会社

祝 創立60周年

造園・土木・管工事

株式会社 都造園土木

常務取締役 都 信親
(昭和56年造園卒)

本社：大分県大分市坂ノ市1826-1

TEL 0975-93-2783

FAX 0975-93-2784

支店：大分県北海部郡佐賀関町馬場

TEL 0975-76-1005

●社員募集中 活力あふれる卒業生求む！

祝 60周年記念

花と緑にとっては 自然な環境がいちばん



園芸植物 卸専門

村田永楽園株式会社

〒157 東京都世田谷区粕谷 3-9-21

TEL 03-3300-8341

FAX 03-3300-0980

農場 神奈川県足柄上郡大井町 TEL・FAX共用 0465-82-7765

創立60周年

お慶び申し上げます。

園芸資材・造園資材・生産資材・卸売専業

有限 村 田 商 事
会社

〒157 東京都世田谷区粕谷3丁目9番5号

TEL (03)3307-1752 FAX (03)3307-1893

CREATING A NATURAL FUTURE

地球あるいは自然との完全な調和を目指し

創造的な活動を行っていくことを意味します。

SHIBASHIGE
芝茂造園建設株式会社

東京都世田谷区祖師谷1-11-12 〒157 電話(03)3482-4141 Fax.(03)3482-2335

芝茂グループ

各種芝生生産販売・造園緑化資材販売

芝茂商事株式会社

TEL.(03)3482-4147(代) FAX.(03)3482-1178

造園緑化工事・緑地帯維持管理

 **ちとせ緑地株式会社**

TEL.(03)3482-1128(代) FAX.(03)3482-1178

東京都世田谷区祖師谷3-36-26

▶ 麦から、
ビール。

▶ さとうきびから、
「味の素」。

味の素株式会社

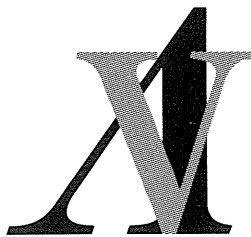
東京都中央区京橋1丁目5番8号
〒104 ☎03(3272)1111 (大代表)

祝 創立60周年

ますますのご発展をお祈り申し上げます。

アールピバン株式会社

専務取締役 梶浦 唯乗



世界を結ぶアートネットワーク

アールピバン株式会社

〒107 東京都港区南青山7-1-5 コラム南青山3F

アールピバンの常設ギャラリー

世界の人気作家の最新作を始め、新人・期待の作家をいち早くご紹介するカジュアルなミュージアム「ミューゼ」。お待ち合わせに、ショッピングの合間に、お気軽にお立ち寄りいただける新しいアートスペースです。

渋谷ミューゼ

ONE-OH-NINE 30th B1F (東急本店前)
渋谷区宇田川町33-5

銀座ミューゼ

銀座コア 6F (4丁目交差点そば)
中央区銀座5-8-20

新宿ミューゼ

新宿エルタワー 17F (小田急ハルク向い)
新宿区西新宿1-6-1

お問い合わせはフリーダイヤル ☎0120-09-3353 (受付AM11:00~PM6:00 土・日・祝日を除く)

祝 創立60周年

OCR・OMR・ビジネスフォーム等の設計から印刷まで、バーコード、高精度ゲージ類紙製品・プラスチック・ポリエチレン化成品の企画販売



株式会社

イトシン

〒103 東京都中央区日本橋浜町3-9-4
TEL.03(3820)0351 FAX.03(5245)7585

わざわざ買いに行く価値あり! の地ワイン

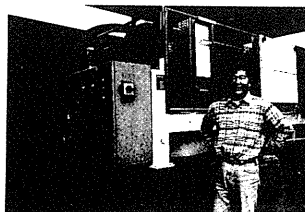
塩山市南部にある牛奥地区で、ワイン通のための本物のワインを造ろうというワイナリー、奥野田葡萄酒醸造がある。中村さん夫妻と従業員1人という小さなワイナリーだが、ワインに対するこだわりはすごい。主人の中村雅量さんは、山梨県指定のワインアドバイザーの経験をもち、ワイン醸造法についても熟知している。その中村さ

んが、こだわりのワインを造るために選んだ場所が牛奥地区だ。この地区は、明治初期には奥野田村と呼ばれていた。甲府盆地を見下ろす南西向きの斜面で、水はけが良く、尾根と尾根にはさまれているので雨も少ない。さらに、ブドウの糖度を上げるために必要な、朝晩と日中の温度隔差が大きい。これがワイン造りに適した良質の

ブドウを作る必須条件。ブドウは、甲州種、マスカットベリーA、フランス原産のカベルネフランを栽培しているが、ブドウの木1本から約20房しか収穫はしない。これ以上多く収穫すると糖度のバランスが悪くなってしまうからだ。この様に大切に育てたブドウの良さをそのままワインに表現するため、他品種とのブレンドは一切し

ない。こうして造られたワイン「夢郷奥野田」は、通のためのワインとして注目を集めている。一度訪ねて工場見学をすれば、ワインができるまでの詳しい説明から、主人のブドウとワインに対する思いが伝わってくるだろう。

●奥野田葡萄酒醸造/9:00~17:00/日曜、祝日休/☎10台 ☎0553-33-9988



ワインは奥野田地区限定収穫のブドウを使い、720ml入り。左から、遅摘みの甲州種を使用した「花いちもんめ」白1500円は、口あたりの良い甘口だ。「夢郷奥野田」は、甲州種を利用した白(辛口)と、マスカットベリーA種を使用した赤(軽口)の2種類で各2000円。やや甘口の「花崖」(はながたみ)白1700円は、女性に人気。フランス原産のブドウを使用した「カベルネフラン」赤は軽口で2300円。上と右は中村さん夫妻



高額賠償時代に備えて

任意の自動車保険をあわせてどうぞ

日本火災海上保険代理店 有限会社 カゾメディカル

代表取締役 小林 士郎 (S45年度卒)

〒173 東京都板橋区大山東町45番5号

TEL 03 (3579) 1 3 3 4

- 福祉・介護用品販売及びレンタル
- 健康福祉サービス
- 積立介護費用保険
- 各種損害保険
- 保険調剤薬局

どうせやるなら
楽しくやりたいね! シロクマへおいでよ!!

最初は誰にでも、判からない事があつて当然。シロクマは、そんな君の強い仲間になってあげたい! と、いつも考えているのです。

大学生
大歓迎



〒343 埼玉県越谷市南敷島1046 | 越谷店
TEL: 0489-75-3011

〒356 埼玉県川越市大字下戸字江場4839-6 | 川越店
TEL: 0492-35-8144



株式会社 GARAGE シロクマ

祝 60周年



医薬品・医療器械総合卸

共立薬品株式会社

代表取締役 小林 士郎 (S45年度卒)

〒173

東京都板橋区大山東町48番2号

電話 (03)3961-0145(代)

FAX (03)3961-6954

祝 創立60周年

今も輝きつづける

昭和45年度卒業生一同

岩谷健作
楠律夫
染矢元秀
垂水洋子
中西利子
松本良一

甲斐清
小林士郎
谷口俊博
富田育臣
早川富雄
南正外



造園・土木・設計・施工・植木生産販売



有限
会社

白河園芸総合センター

昭和49年度卒業 満山喜一

福島県白河市字高山西12番地の7

電話 (0248) 27-3515

FAX (0248) 27-3572

“懐かしさ”と出会う旅—。
お出掛けになりませんか。

信州・木曾《文学と歴史の宿》政府登録国際観光旅館

つたやグランドホテル

♠ 常磐松自動車倶楽部とご予約下さい。
特別のご配慮をさせていただきます。

〒397 長野県木曾郡木曾福島町本町

☎(0264)22-2010(代)

FAX(0264)22-3166

いつも、健やかさをおとどけしています。



昭和48年卒業・叶野 力 昭和49年卒業・間瀬英生
 東京中央ヤクルト販売株式会社／新宿区戸山3-15-1 〒162 ☎03(3202)8960
ヤクルト

祝 東京農業大学自動車部 創部60周年 常磐松自動車倶楽部 東海支部

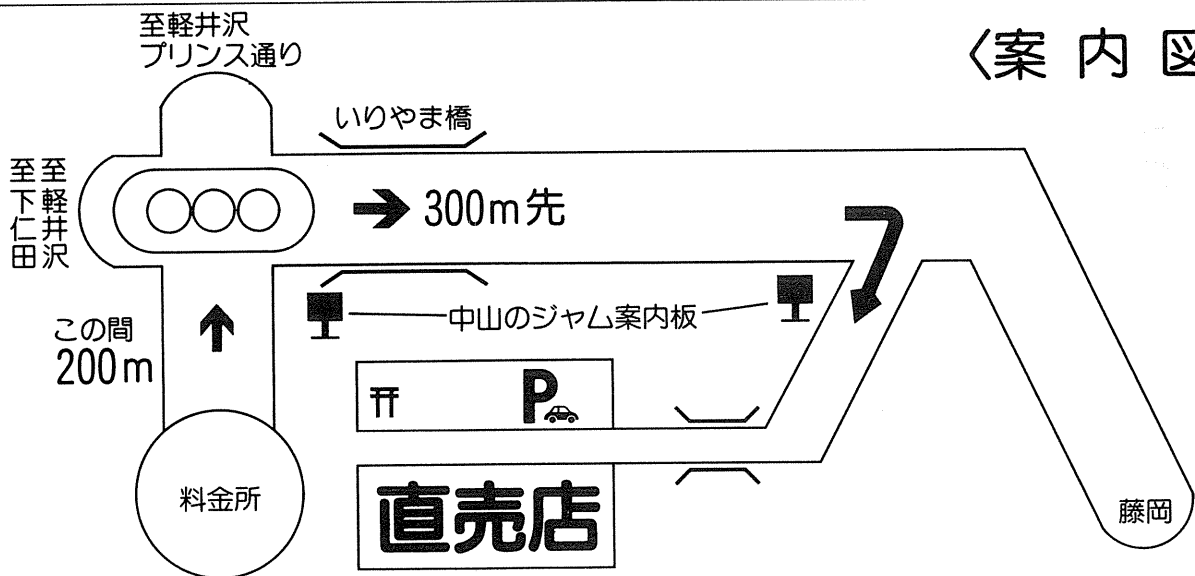
		愛		知						
山口	吉男	S19	専拓	音羽	深沢	邦治	S43	造	芝川	
遠藤	守衛	41	化	西尾	小沢	伸司	45	林	清水	
青木	真理子	45	栄	岡崎	山本	耕平	45	農	富士	
石川	実明	53	造	豊田	富田	育臣	46	林	相良	
原田	宜典	62	農	豊川	望月	敏雄	47	経	由比	
二階堂	伸	63	農	岡崎	秋山	通	49	工	静岡	
尾崎	精一	63	短農	豊橋	平野	均	50	林	富士	
皿井	岩雄	H 1	農	常滑	丸山	泰史	50	短農	豊岡	
大場	秀之	4	農	赤羽根	村上	佳己	51	農	島田	
神藤	充宏	6	農	豊橋	樫山	晴子	51	短農	島田	
						深沢	初正	52	林	沼津
						般窪	則夫	53	短農	春野
						鈴木	克幸	55	工	藤枝
						寺尾	進	55	短農	静岡
						鈴木	公平	56	造	浜松
						中津川	英彦	H 3	工	浜松
		静		岡						
市川	誼	S41	林	天竜						
淡輪	昌治	41	畜	富士宮						
山梨	正興	42	林	清水						
渡瀬	克彦	42	林	浜松						

美しい信州の酒

酒の王 **神渡**
みわたり

醸造元 **株式会社 豊島屋** 〒394 長野県岡谷市本町3丁目9-1
☎(0266)23-1123 FAX(0266)22-0787

〈案内図〉



碓氷 軽井沢 I.C

中山のジャム 直売店

〒379-03 群馬県碓氷郡松井田町大字西野牧17308
TEL 0273-95-2022 FAX 0273-95-2004

御殿場高原の生ハム・ハム・ソーセージ・惣菜

自 然 然
大 切 然
家 族 切 然
で な は
す。

米久

米久株式会社

取締役社長

庄司清和(昭39・畜)

静岡県沼津市岡宮寺林1259 〒410 TEL<0559>22・5321

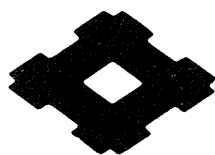
住み良い環境作りに貢献する
安達建設興業株式会社

三 条 支 店

代表取締役
支 店 長

安 達 竹 二

〒955 新潟県三条市三竹一丁目11番9号 ☎0256(34)1521(代)



株式会社

イツツみそ

香川県三豊郡豊浜町

TEL. 0875 (52) 3030(代)



造園土木設計施工・園芸一般請負

株式会社 稲亀緑花

代表取締役 稲毛裕史

本社 〒133 東京都江戸川区鹿骨1-20-6
TEL 03-3670-5206
FAX 03-3670-5273

庭園樹・緑化樹・生産 卸

白倉植物園

白倉良尚

〒330 埼玉県大宮市東新井268-1
TEL. 048(684)5176 FAX. 048(685)9483

Flower & Green

えいか園

代表 須賀透 (昭和47年卒)

〒121 東京都足立区西保木間2-18-19
Tel 03-3850-8191
Fax 03-3860-0347



M. URBAN PLANT

水耕栽培(花・観葉植物)

福島県原町市本陣前三丁目423 TEL. 0244-26-1236

エム・アーバンプランツ株式会社

代表取締役 諸井道雄

関連会社 (有)諸井緑樹園 ・ 造園事務所

TEL 0244-24-1633
FAX 0244-24-3598

・ 花の店 モロイ

TEL 0244-22-8766
FAX 0244-22-4187



コンクリート二次製品・土木建設資材販売

株式会社 **エコム**

群馬県邑楽郡

千代田町大字木崎346

☎0276(86)3135(代) FAX0276(86)5458

関連会社 コンクリート二次製品製造・日本工業規格表示許可工場

襟川コンクリート工業(株)

一般造園設計施工管理
庭石・庭木販売

(有) ^{おお}大 ^{みか}甕 造園

〒975 福島県原町市深野字原田1番地
TEL (0244) 22-6266 番
FAX (0244) 22-6266 番

天然醸造醤油

◀上▶ 片上醤油株式会社

〒639-22 奈良県御所市大字森脇329
TEL <07456> 6-0033

創立60周年 おめでとうございます。

乾杯!!

神生農用菌類研究所
種菌純粹培養(全日本菌学会会員)

カ ノウ ヤス トシ
神 生 恭 利

〒315-01 茨城県新治郡八郷町吉生3181-1
電話 0299(43)6391 FAX 0299(43)6780

洋ラン生産(フォーミダブル、デンドロビューム、オンシジューム、他)

皿井農園

〒479 愛知県常滑市広目字前田面5
TEL. 0569-37-0208・0629
FAX. 0569-37-0208

造園・外構・設計・施工・管理



株式会社 成樹苑

代表取締役 池田成樹

〒145 東京都大田区上池台5-8-10
TEL (03) 3728-4686(代表)
FAX (03) 3720-7707

道づくりから、環境づくりへ。

Taisei Rotec



大成ロテック株式会社

代表取締役社長 中村雄二

本社 東京都中央区京橋3-13-1 TEL.03(3567)9431

株式会社 つるや商店

業務用乳製品卸売販売

東京都世田谷区北沢1-18-23
電話(3460)4751 FAX(3467)5369

農友会自動車部

創立60周年おめでとうございます。

東京農業大学生生活協同組合

理事長 武長 宏 (農学部長)

東京都世田谷区桜丘1-1-1 ☎03-3427-5711

造園全般設計・監理

有限会社 ときわ造園設計

代表取締役 神庭 勝利

専務取締役 福地 進而

〒270-13 千葉県印旛郡印西町木刈2-24-9
TEL・FAX 0476(47)2772

DOHC,
ターボ車に
最適です。

なぜなら常に高温にさらされるタービン部分の保護、冷却に高い効果を発揮します。

スーパー
フロロンNo.1

セラミック系オイル強化活性剤 増量パック 当初70g 簡易パッケージです。
耐熱温度は900°C~1000°Cまでアップ!! 100g ¥6,000

日本潤滑剤流通センター

〒154 東京都世田谷区若林1-8-8-402

●03(3421)7555

緑化用資材・土壌改良材・肥料・農薬・種子

日本林業肥料株式会社

〒105 東京都港区虎ノ門1丁目15番16号 ☎03-3501-8707
FAX03-3501-8710

雄大な山々をのぞみ 球趣つきない27ホール

沼田スプリングスカントリー倶楽部

* 林 勝 男 (昭和48年 造園 卒)

〒378-01 群馬県利根郡白沢村高平2537-1 ☎0278(53)2211(代)

富士錦
大吟醸

天然醸造 富士錦酒造株式会社

代表取締役 清 恭治 (昭・31・醸)

〒418-04 静岡県富士郡芝川町上柚野532
TEL <0544> 66 - 0005(代)

完 熟 り ん ご 産 直

信州の自然にはぐくまれた味の王様「サンふじ」をどうぞ!!



藤牧農園

〒381 長野市大字村山147
TEL 0262-96-9180
FAX

清酒 京の春

純米吟醸 **元祖 日本酒**

地方発送賜ります

創業宝暦四年九月

向井酒造株式会社

京都 伊根町 平田
電話(0772)32-0003
FAX(0772)32-0199

あとがき

2年前の秋にOB会幹事会で60周年の実行委員長を仰せつかって以来、東京近郊に住む若手OB・OGに集まってもらい、休日返上で土曜日や日曜日に部室で打合せを重ねました。記念行事の中身は？とか、資金はどうするの？などなど紆余曲折の末、何とかここまでこぎ着けました。話に行き詰まって、焼鳥屋で気分転換しながら、激論を交わし、いつの間にか訳が分からなくなり、気がついたら終電の時間をとうに過ぎていたこともありました。

今回、様々な方々のご協力を賜り、この本やパーティーを成功させることができました。ありがとうございました。

たっぷりあった時間的な余裕もいつしかあと半年という今年の4月に、私は転勤の辞令が出て、他のメンバーに全てをお任せ(押しつけかな?)して宮城県の山中に赴任しております。このメンバーには、しんどい思いをさせましたが、本当に感謝しています。

次の記念行事は10年後でしょうか。その時には、一人のOBとして参加できればなどと思いつつ、自動車部っていいクラブだなあとしみじみ思う今日この頃です。

昭和57年度卒 水野 政純

実行委員の皆さん、長い間ご苦勞様でした。久々に大学に集う機会に恵まれた(?)が、お世辞にもきれいとはいえない部室といい、油まみれのツナギといい、雰囲気は10年前と変わらないので、ほっとするやら、こいつらも前途多難だよとちょっと胸を痛

めるやら…しかし、最近の農大自動車部の活躍に驚くと共に頼もしく思います。OBの皆様の中には、度々の電話でいやな思いをされた事、この場を借りてお詫びいたします。

昭和57年度卒 伊藤 裕彦

現役時代ですら部への貢献度がゼロに近かった私が、卒業後10数年も経って良く動いたものだ和我ながら感心。お陰さまで、創立初期の大先輩から現役まで連続と続く部の歴史を実感しました。原稿をお寄せくださった関係者・OBの皆さま、どうもありがとう

ございました。次の記念行事は10年後でしょうか。次代の方々へバトンタッチします!

昭和55年度卒 小林 晶子

式典終了後、裏方全員慰労会へ出発!
やっぱり無理か!!

昭和61年度卒 湯野川瑞比古

仕事らしいことは、何もしないで今日に至ってしまいましたが、記録を残しておくことの大切さと、自分の記憶力の悪さを実感した記念誌作りでした。

昭和62年度卒 中道 裕美

10年後はやりたくないなあ。

平成4年度卒 吉田 康治

スズキに入社してはや2年目に突入した。自動車会社なら、自動車部にコーケンできると思ったら…。

皆さん大変ご迷惑をかけました。ま、10年後を楽しみにして下さい。関東にいないかもしれないけど…。

平成4年度卒 大島 憲一

4年生の時からOB会担当だった私は、当然のこのように60周年も中心となって活動せざるを得ませんでした。しかし、社会人になったばかりで余裕がなく、メンバーも少なく、具体的な活動方法もわからず、記念行事を成功させることができるのか不安でした。でもある日を境に「どうせやるなら楽しくやろう。」と考え、

60周年の活動を趣味にしてから何とかここまでこぎつけることができました。原稿や広告を集めるためにたくさんの方々のご協力をいただいたことをこの場を借りて心からお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

平成4年度卒業 渡橋 周子

私は記念誌作成に関わった人間の中で、最もチャランポランだったので他のメンバーに多大な迷惑をかけてしまいました。申し訳ありませんでした!!

平成4年度卒業 高橋康二郎

2年前、私はOB会担当をしており、60周年記念行事の書記をつとめる予定でした。しかし、その次の年に主将になってしまい、この重責を泣く泣く(?)同期の瀬川君に譲ることになってしまったのでした。主将になった私はOB会や60周年記念行事の委員会には出席したものの、ただお話を聞いているだけで、具体的な仕

事はほとんどしなかったもので、とあるOGに「土屋は4年生になって墮落した。」と言われ続けていたものでした。それでも一応、私なりにお手伝いをしたつもりなので容赦いただきたいものです。

現役 主将 土屋 幸康

創立60周年にちょうど当たってしまい、記念誌、記念式典をお手伝いさせていただきました。現役部員の一人としてOB、OGの先輩方にたくさんのお協力をいただきましてありがとうございます。これからも御協力よろしくお願ひします。

現役 OB会担当 瀬川 貴志

2年生になっていきなりOB会担当補佐という係につき、わけがわからないまま瀬川先輩にこき使われてここまでやってきました。仕事に悩むことも多々ありましたが、やっぱりやって良かったと思えるようになりました。

現役 OB会担当補佐 田村 芳広

東京農業大学農友会自動車部創立60周年記念誌

平成6年11月1日 発行

発行 常磐松自動車倶楽部

創立60周年記念行事实行委員会

東京都世田谷区桜ヶ丘1-1-1

東京農業大学農友会自動車部内

電話03-3425-3446

印刷 株式会社 耕文社

書